

R 凸感ロマンス

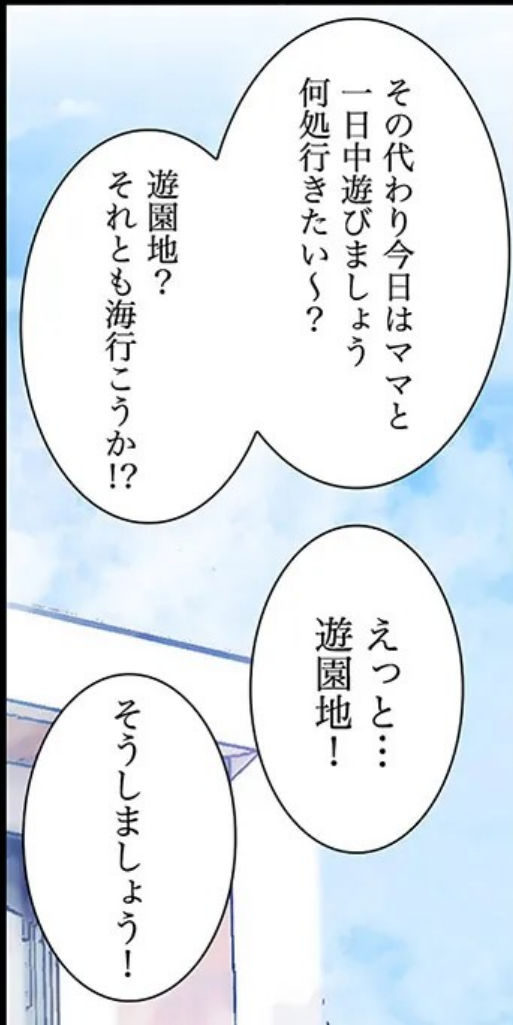
凸感ロマンス

作画 anko・ANTAI

原作 haron

合本版 1

人間は適応する
動物だという言葉がある





しかし

父の事業が
傾き始めると
危機は一瞬で訪れ…



若くして
事業に成功した父

他人を羨む事なく
豊かに暮らしてた我が家



父は海外に発った



向こうでも
体に気をつけて
くださいね…!!
レストインピース…

それは亡くなった人に
言う言葉だよ…

…



ママの面倒を見て
元気に過ごせ



一征パパは
新たな目標のために
海外に行く！

決して
逃げるわけじゃないぞ



はい
パパ！



それと絶対に忘れるな
どんな事があっても
解決出来る術は
常にあるという事を！

その後
残っていた財産を処分して
全ての借金を返済した後

俺達家族に残ったのは
小さな家一つだけだったけど
俺は腐らず適応した





ずっとここで生活
するわけじゃ
ないからな…



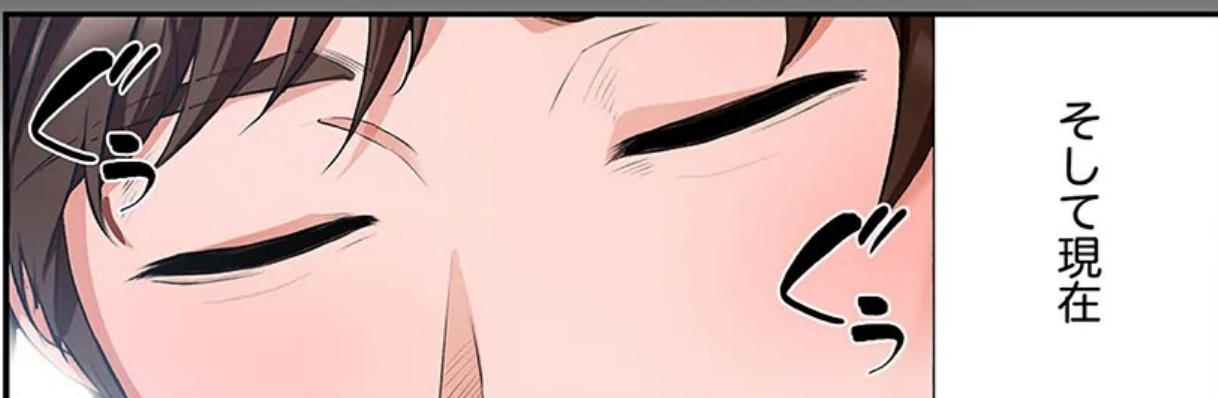
もう
この上り坂にも
慣れたけど…



学校を卒業したら
金をめっちゃくちや稼がないと

家は平地の一軒家で
広くて静かな場所に

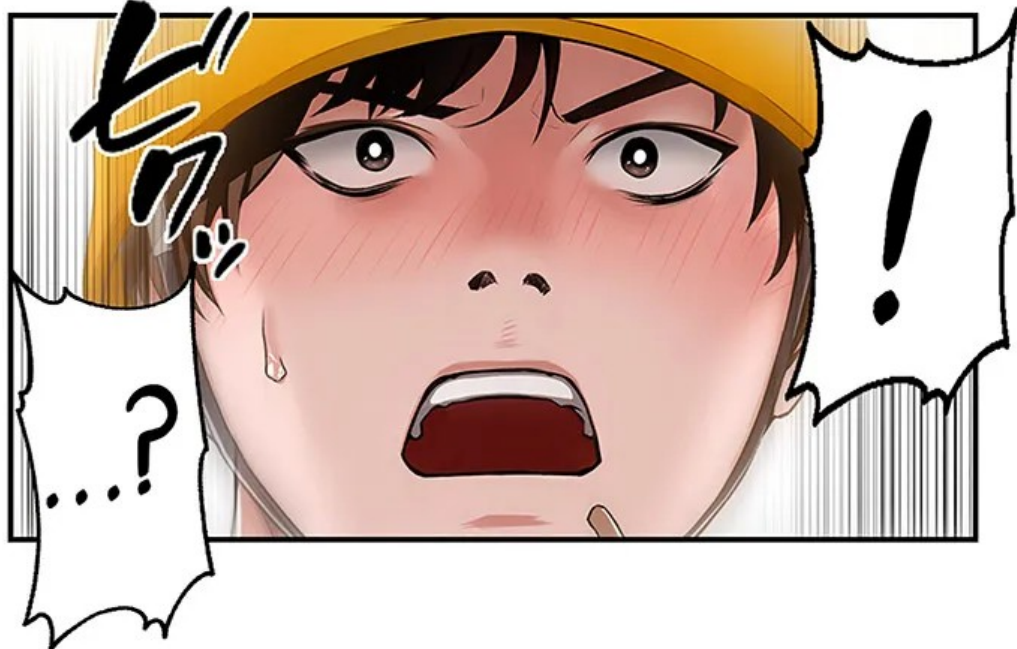
歩いて行動する事もなく
何が何でもタクシーに乗るぞ
汗をかく仕事はしない



そして現在

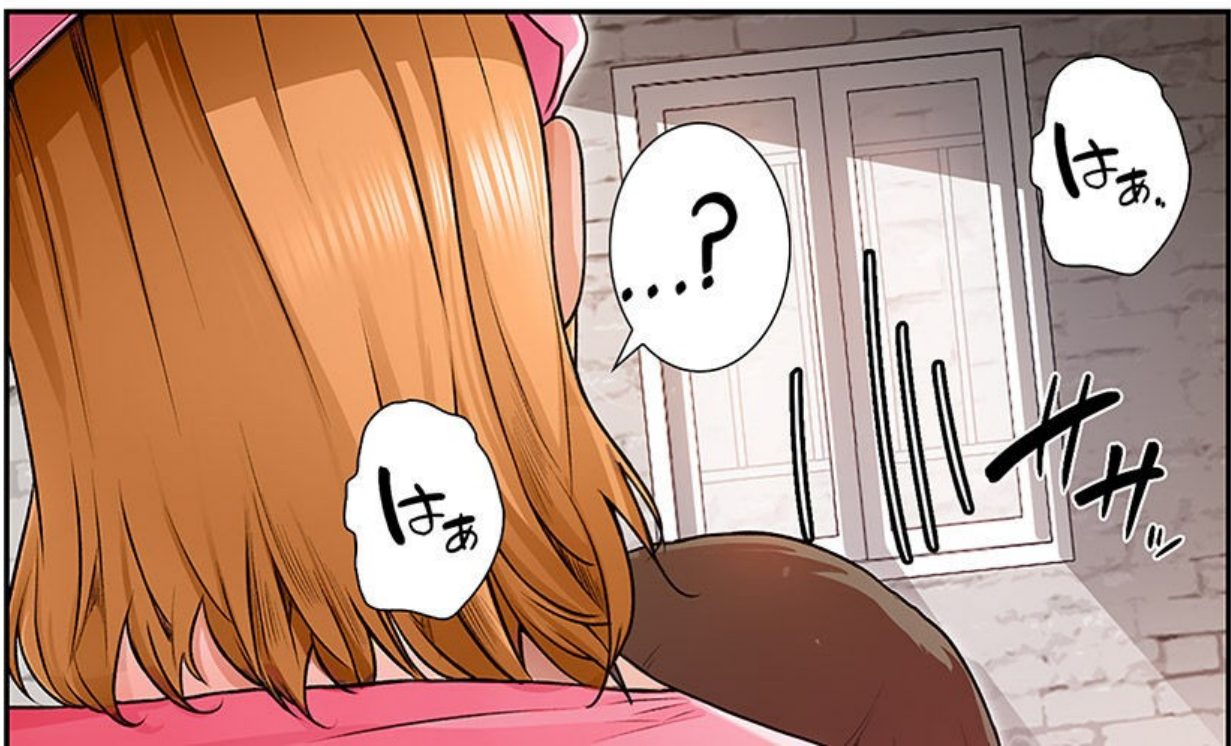
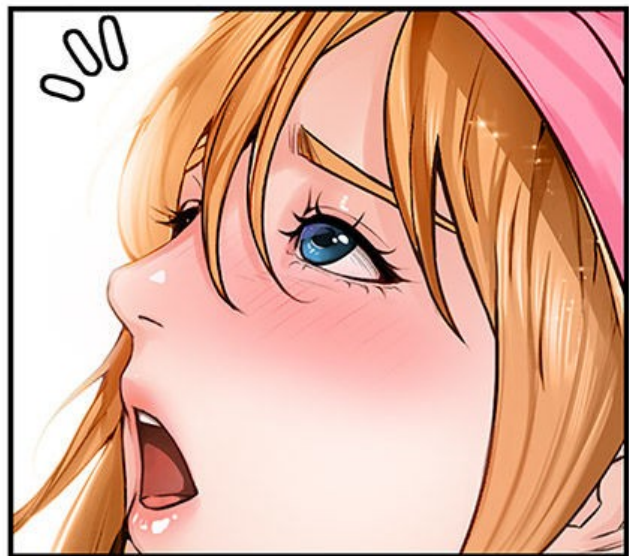
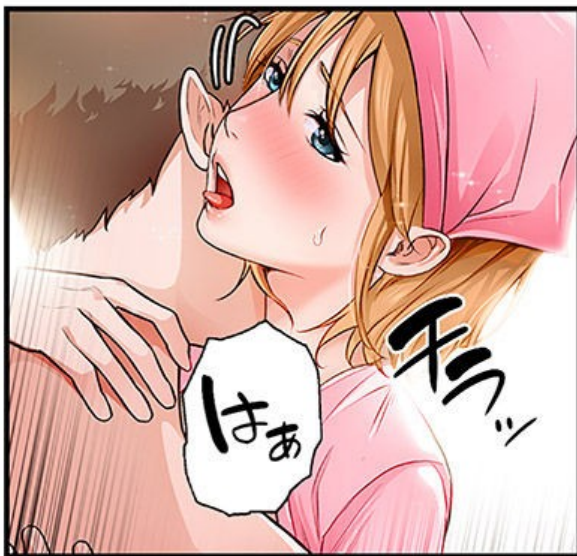


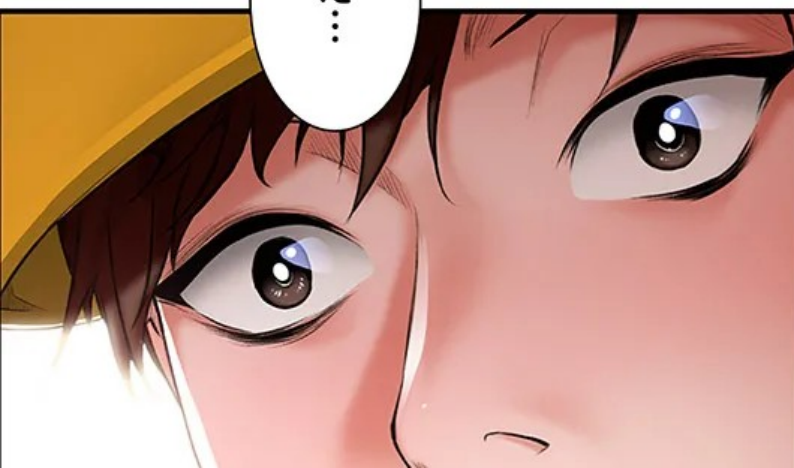


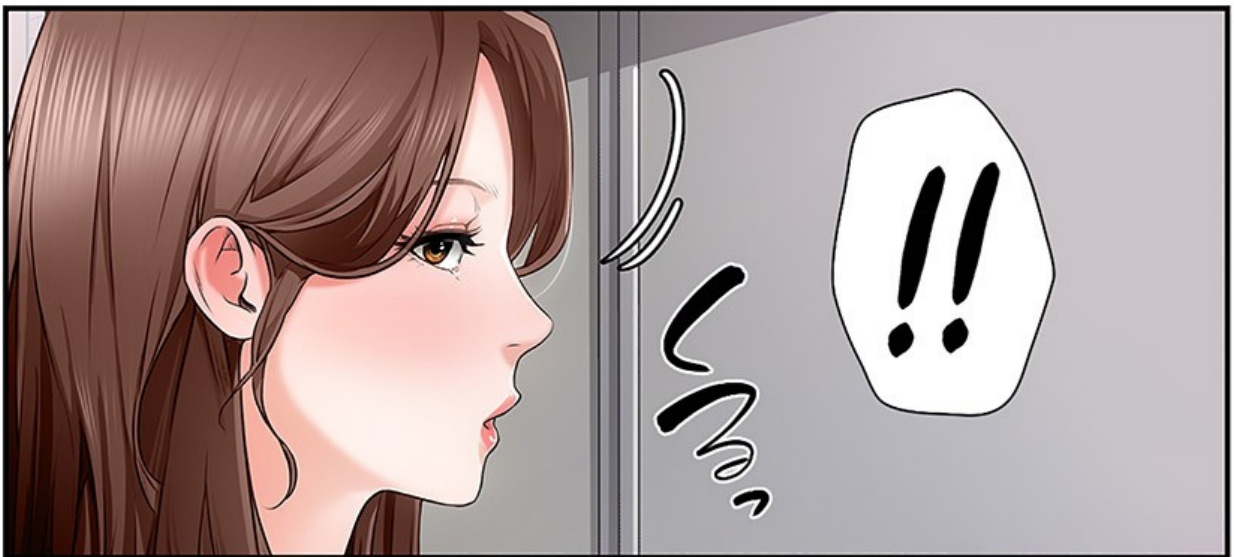
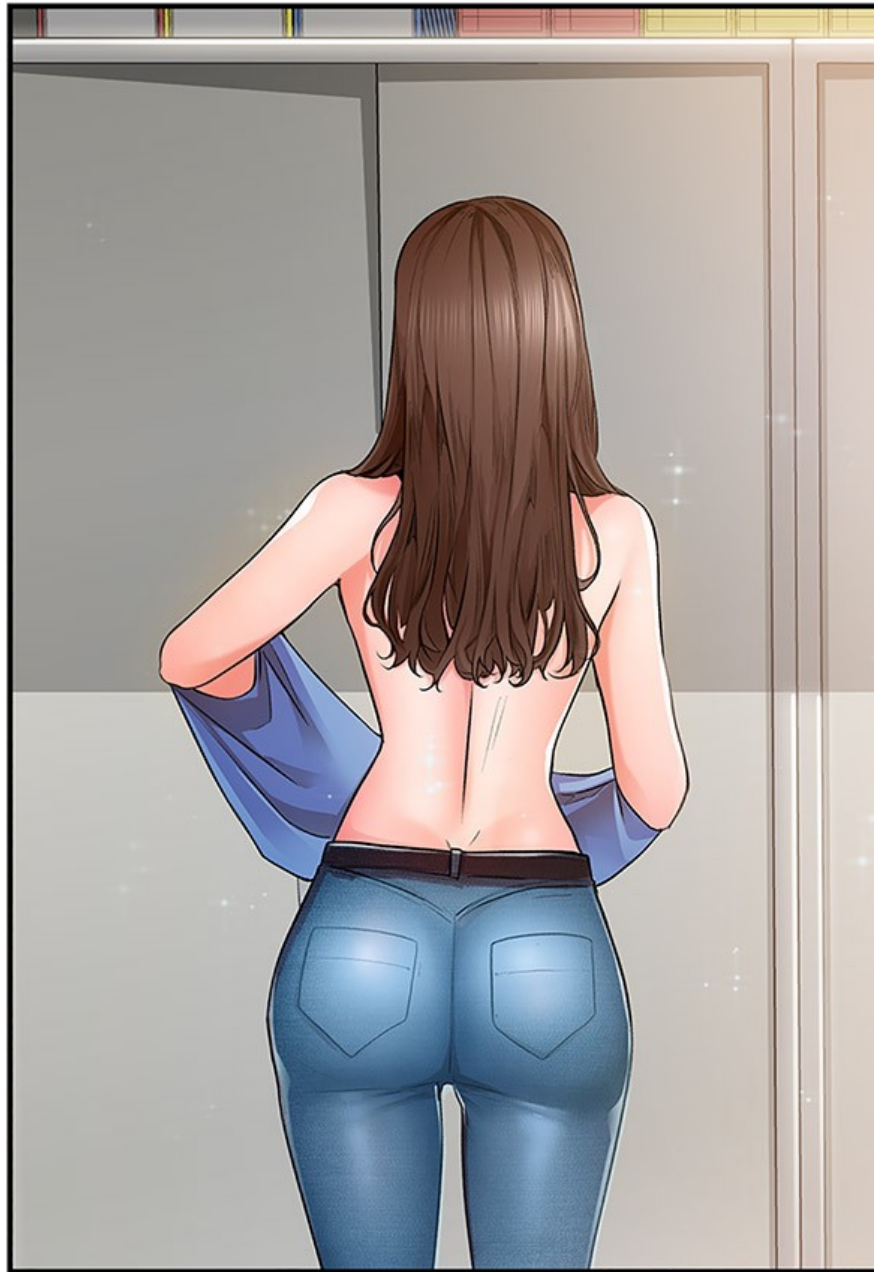
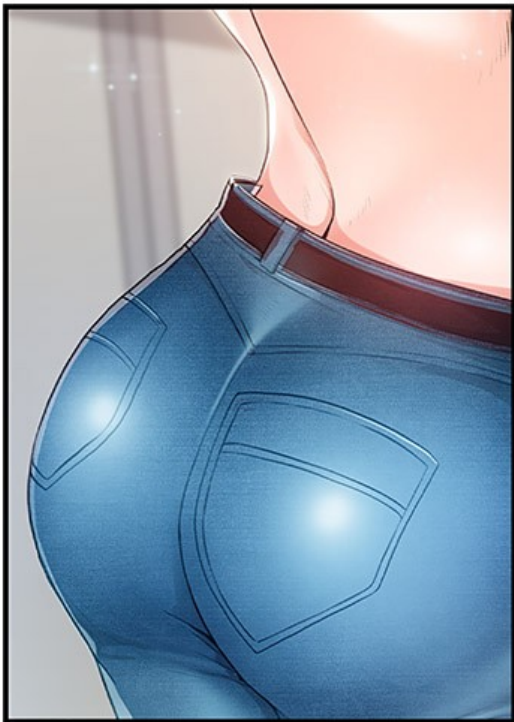
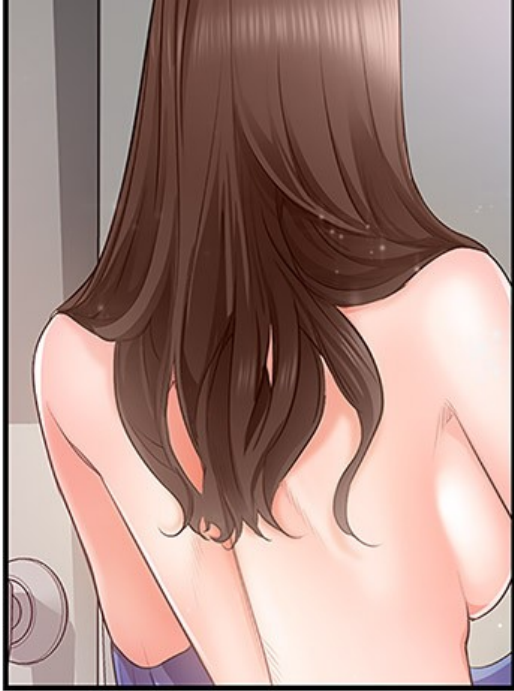


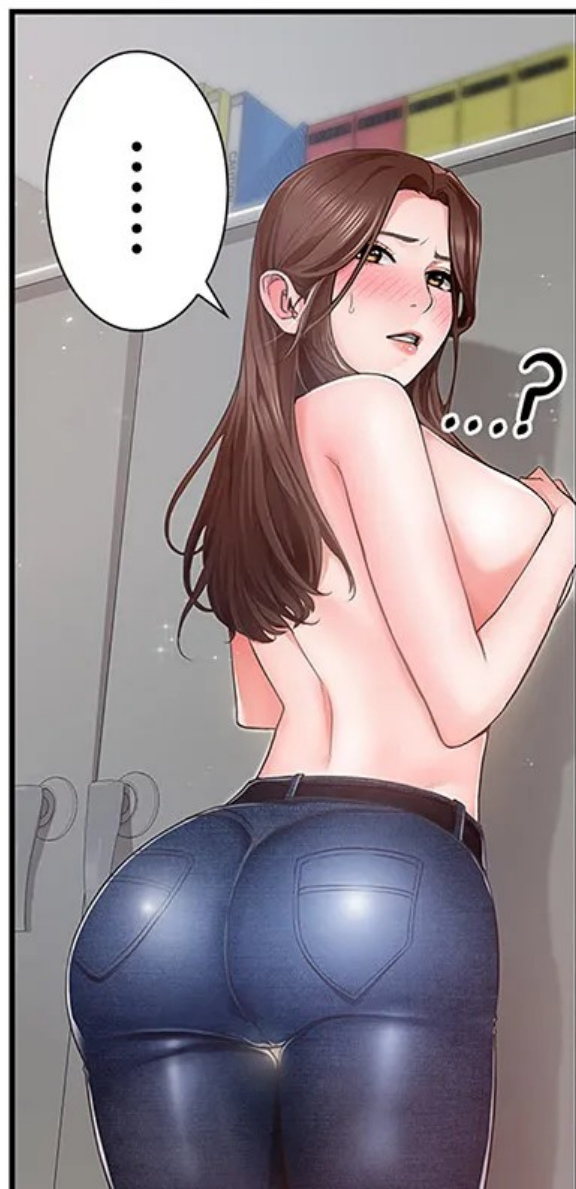
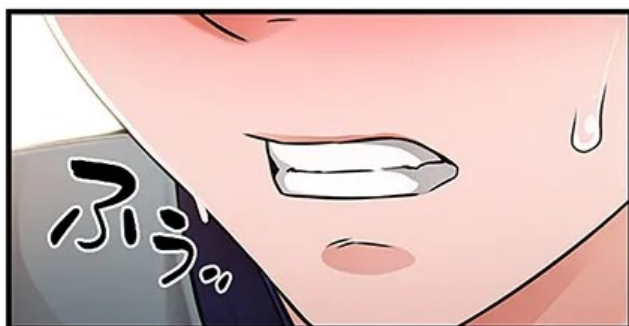


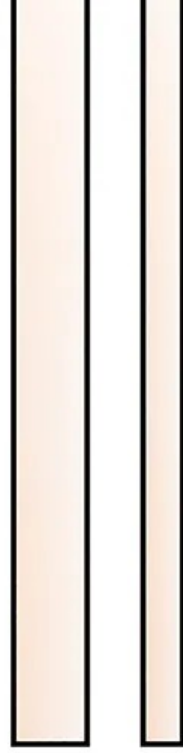




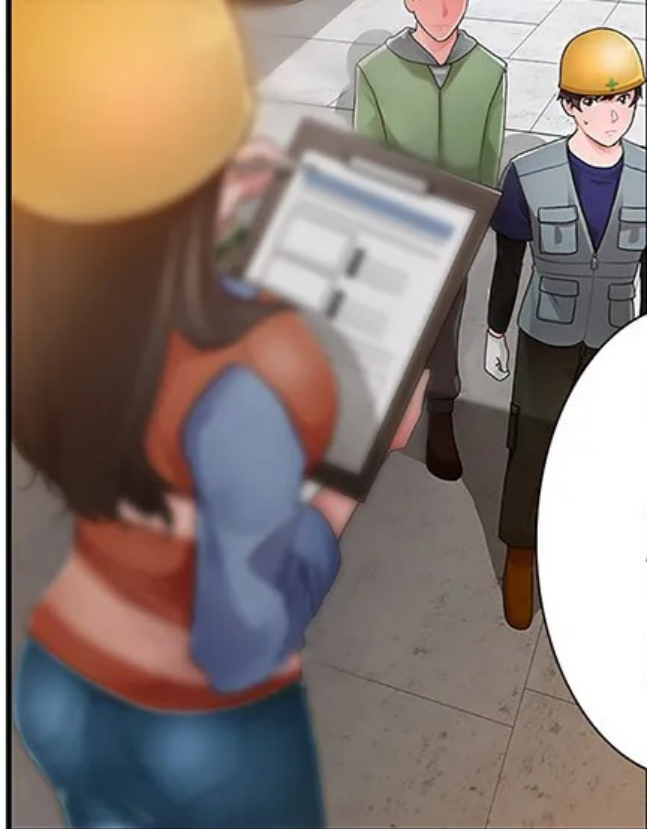












さあそれでは皆さん
よろしくお願いします



ちっ

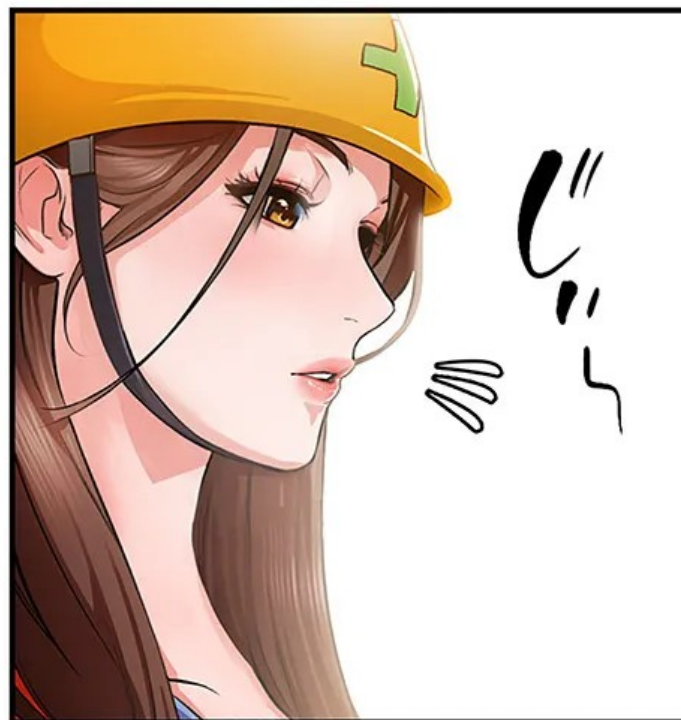
とっ



掛け声準備!

安全ループ良し!

良し! 良し! 良し!



じい



何だよ
何でずっと
見てるんだ?











ズボンは脱がせないで
そこは駄目……!!



ああッ……!
な…何のマネですか!



プライド高い女だから
初めは抵抗するだろうけど



後々すがりついて
結局諦めるのさ

グッ
グッ
グッ



嫌なフリをするけど
内心は期待してて…



フッフ…



だ…駄目なのに…

うる

うる

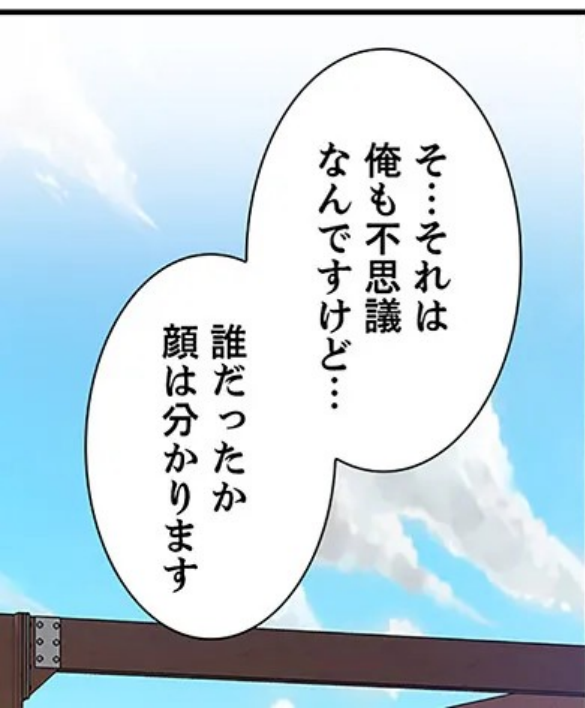






もしかして
誤解されてるんじゃないかと思って…
俺は何も言ってます

もう一人
いたんですけど
気づいたら…



そ…それは
俺も不思議
なんですけど…

誰だったか
顔は分かります



人間がそんなに早く
姿を隠せるかしら？

誰が言ったとしても
私には皆同じように
見えるけど

あなたもどうせ
同じ様な事を
思ってたんでしょ？

俺は何も言っ
て
ませんって…

誤解されたら嫌なので
こうやって話に
きてるんですよ！

カッ

いや…誤解を
解かせてくださいよ！

誤解しようとしまいと
その何が重要なのよ？

俺には重要ですよ
変な人扱いされてる
のに！

カタッ

ゴ
ゴ

もういいわ
ご飯食べて
仕事して
興味無いから

え？

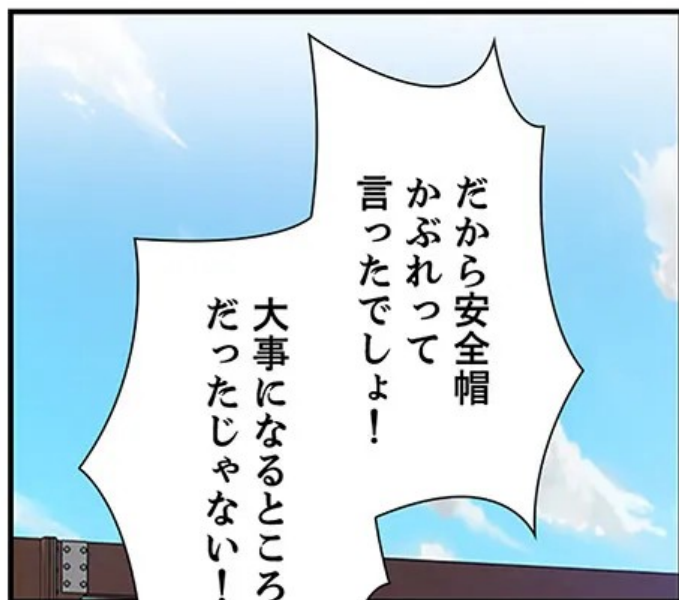
それと現場では
安全帽必ず被って
いいわね

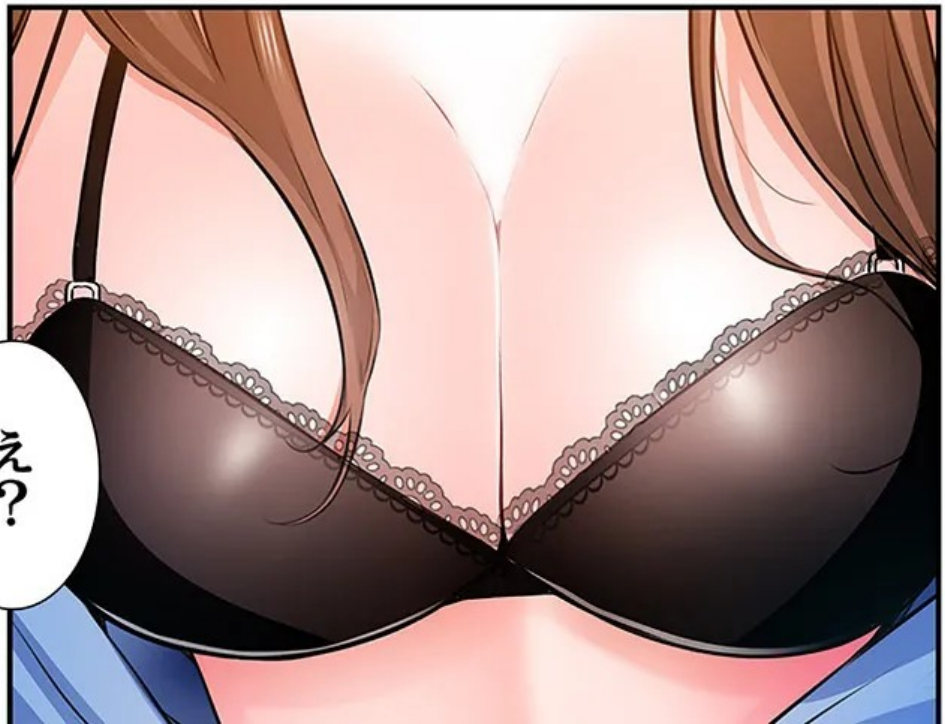
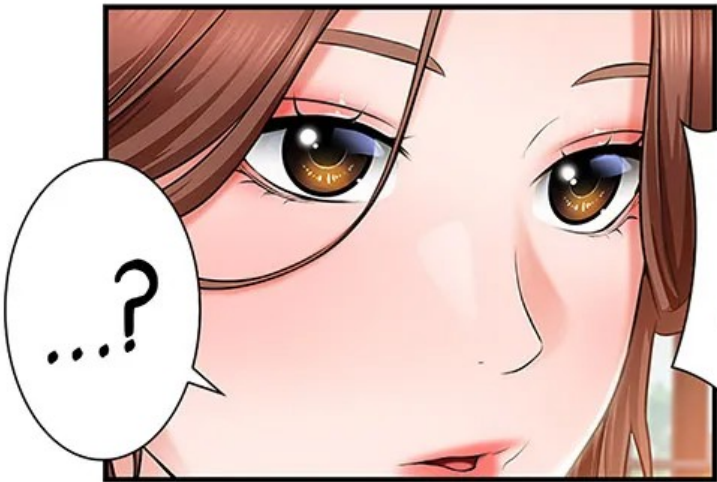
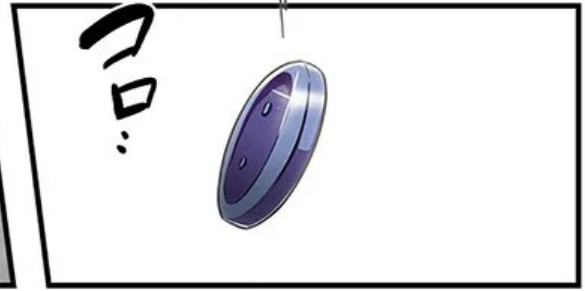
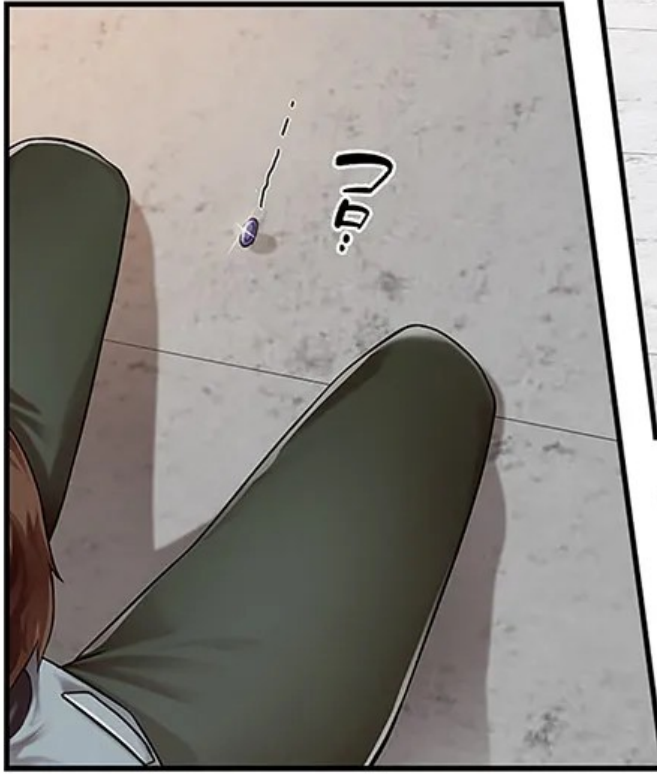
こ…この…！

はあ…
あなたは言わなかった
これでいい？

え？

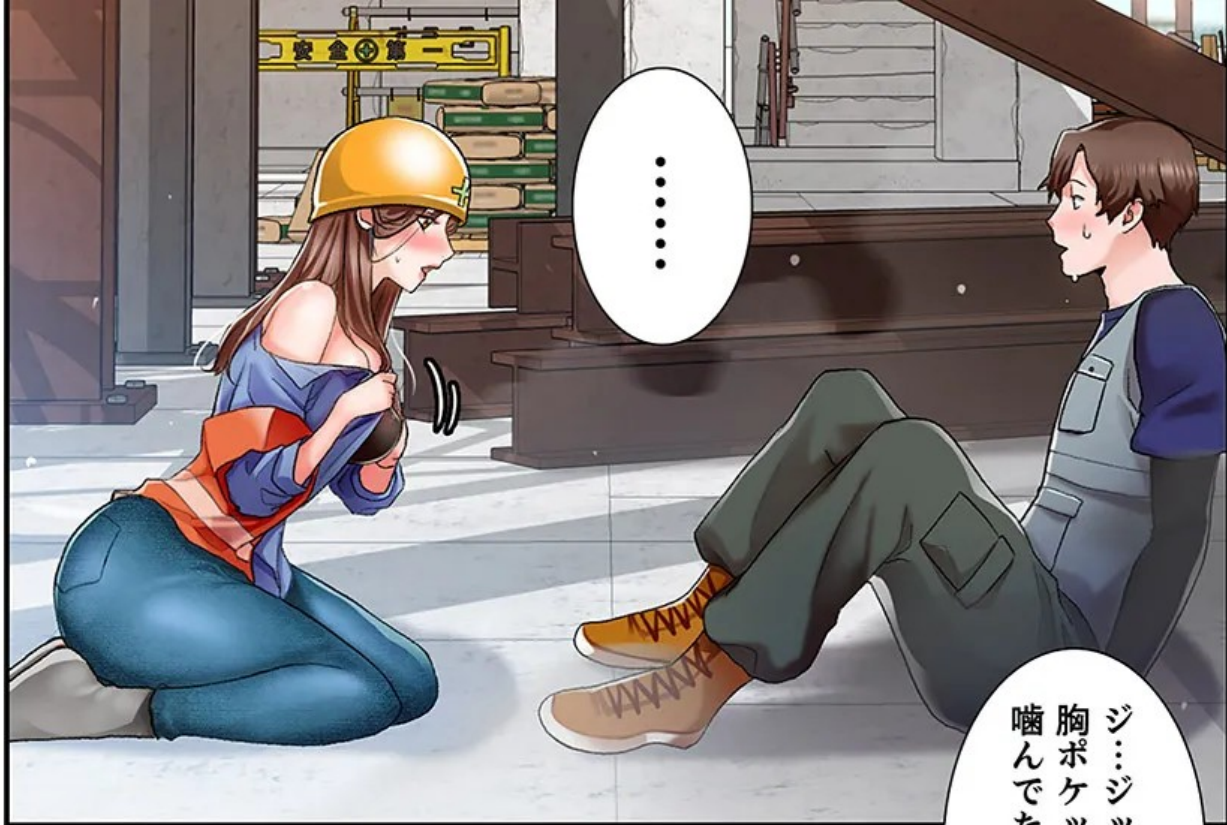




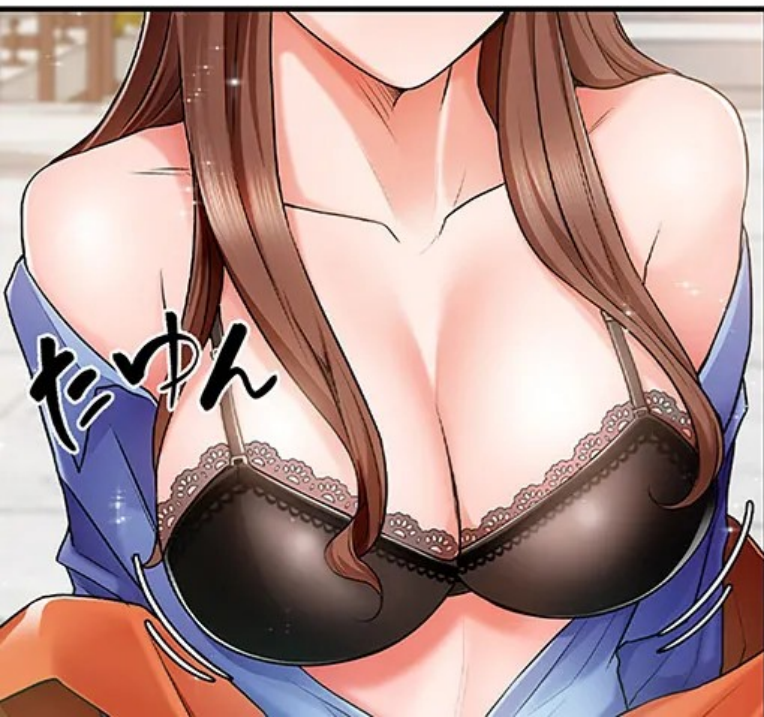


スル...





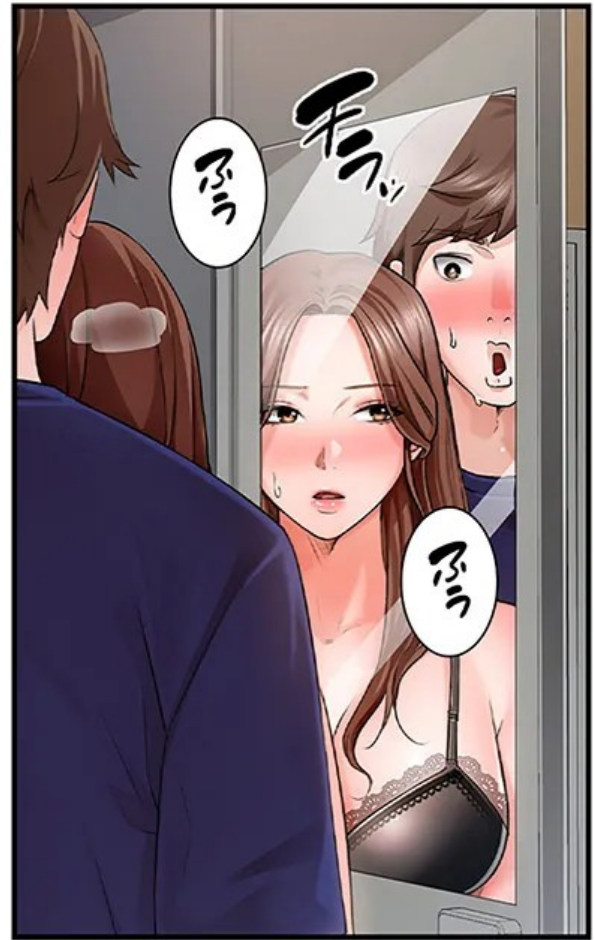
ジ…ジッパーが
胸ポケットの生地
に
噛んでたのね…

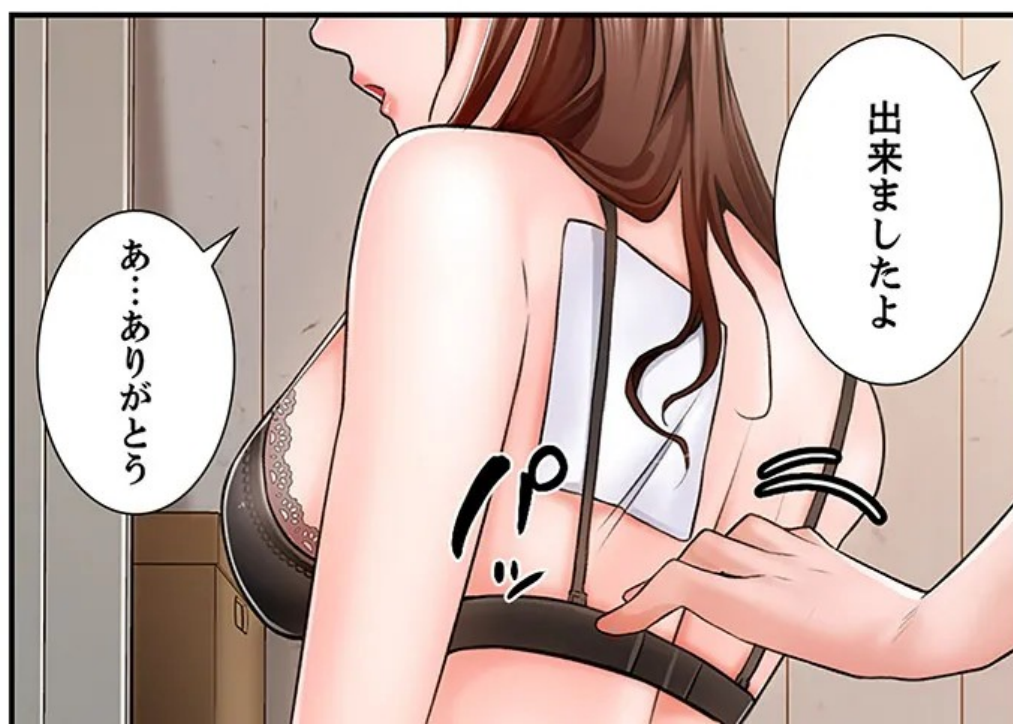
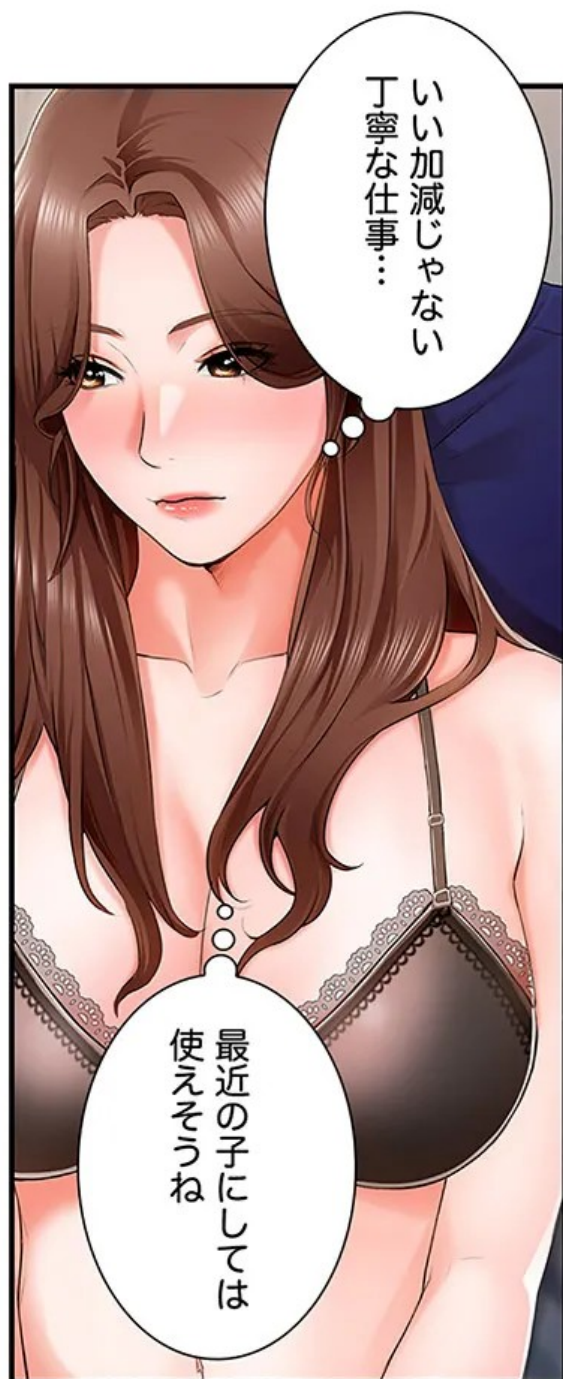


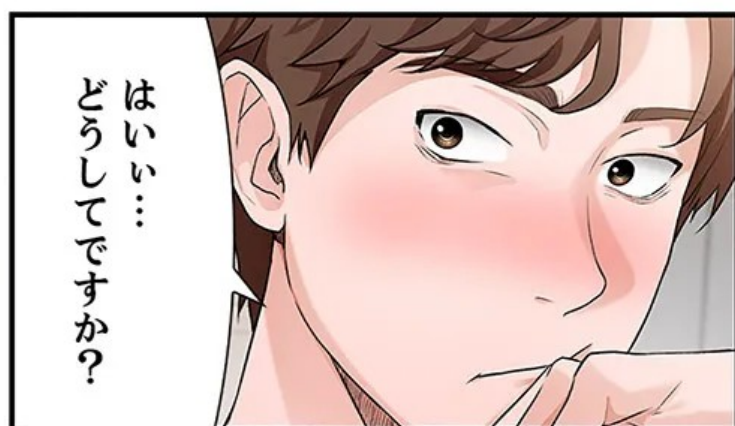
















あの人は!



残念です...



えっ...!

所長は
召し上がらない
んですか?

私は大丈夫です



今日のおかずは
自信があつたのに

えへ

もじ

もじ



少しだけ座って
待ってて
くださいー

ありがとうございます
ございますー



ちょうど今
片づけちゃったので
別で用意しますね



違います所長
あの方…
痴女です…!!

……

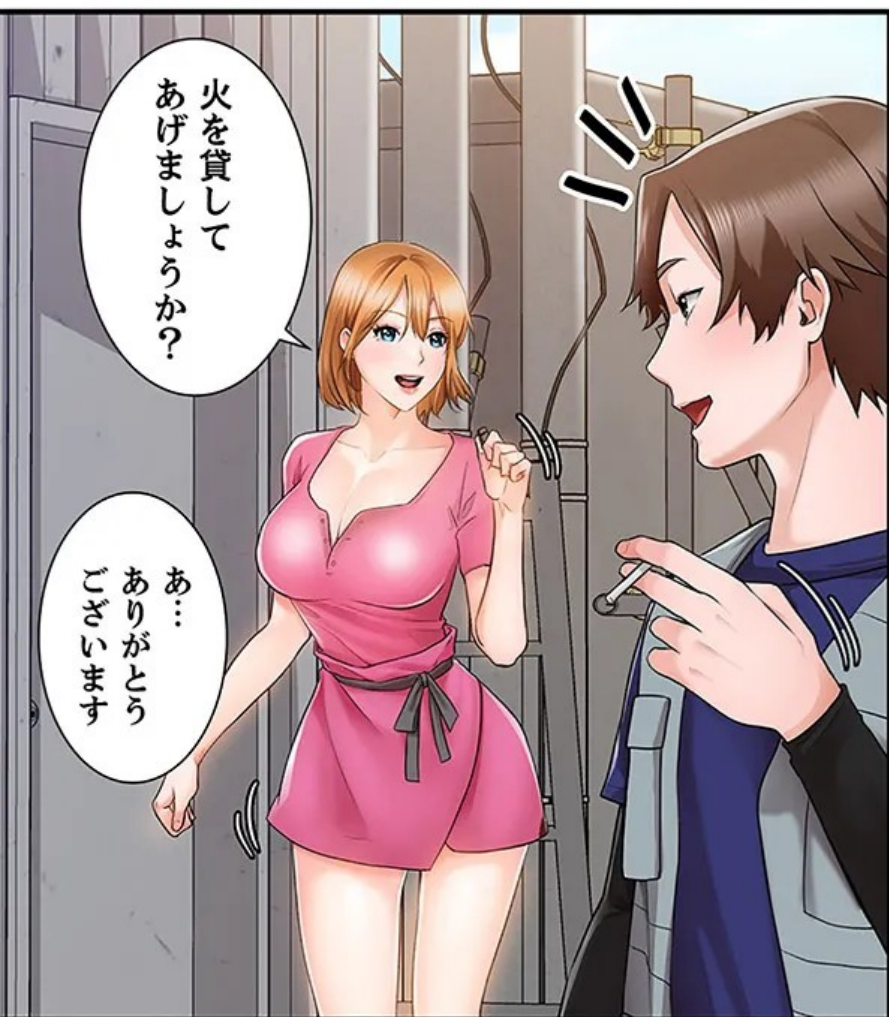


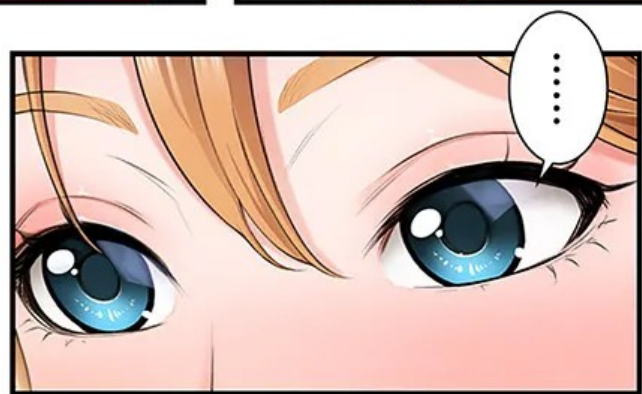
良かったわね
ここの食堂の栄養士の
川島好珠さんよ
かわしま

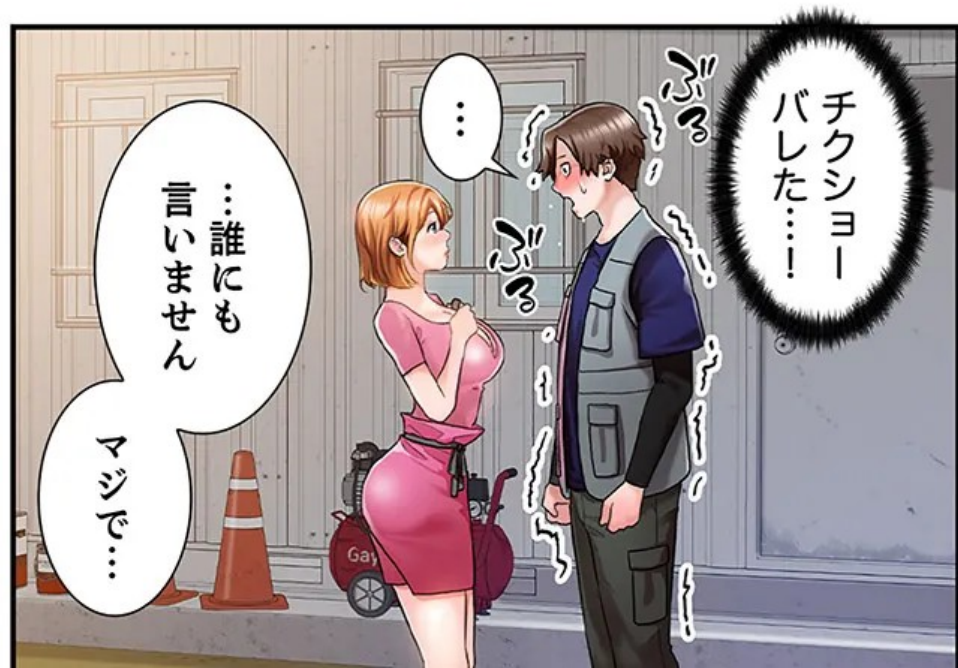
ちょっと気が弱いけど
優しくて誠実なのよ

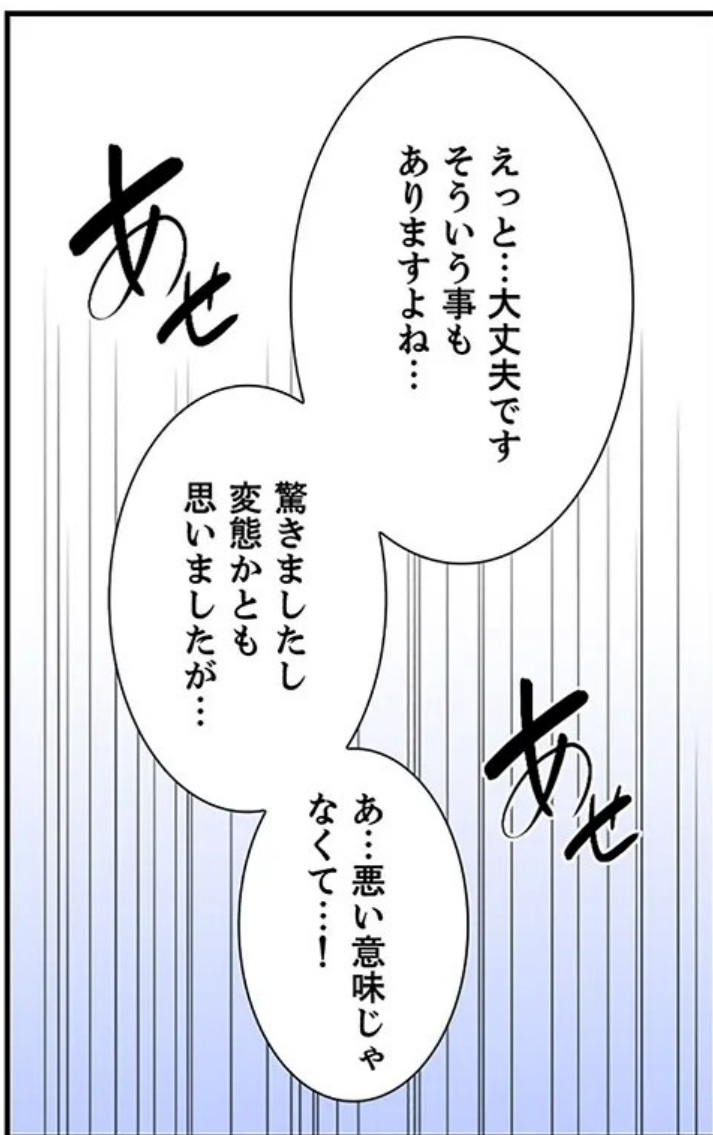


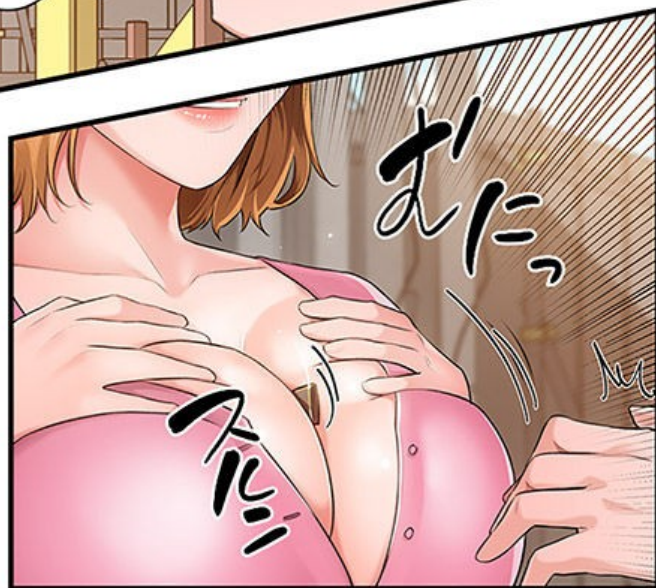
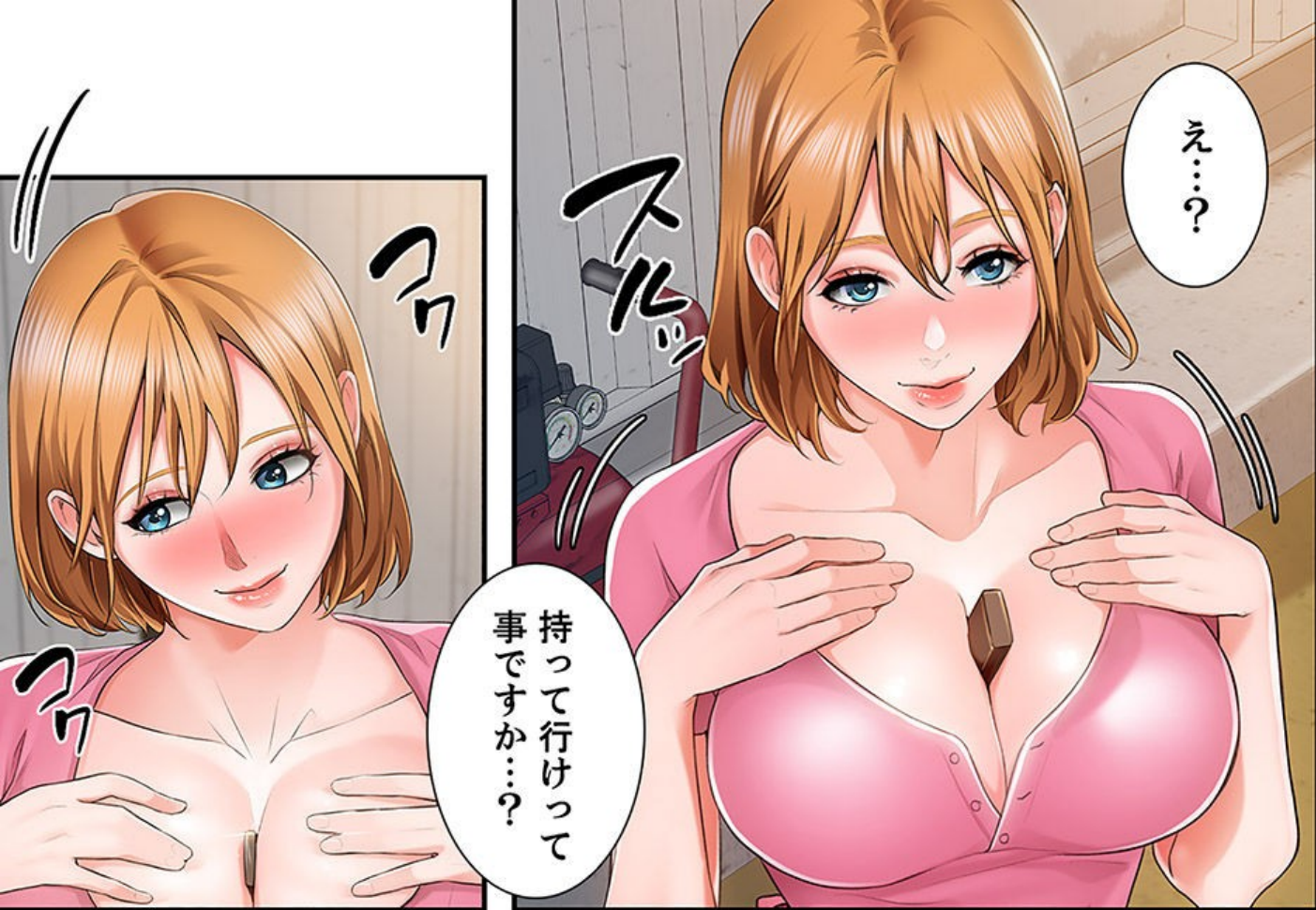












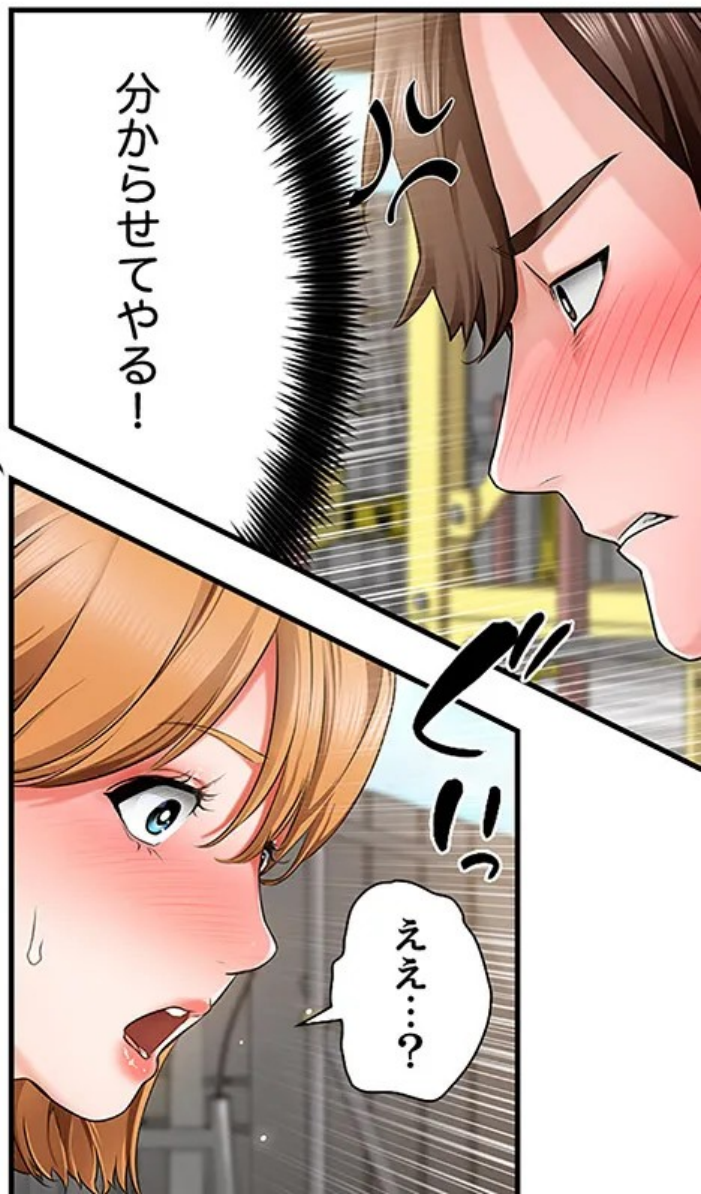
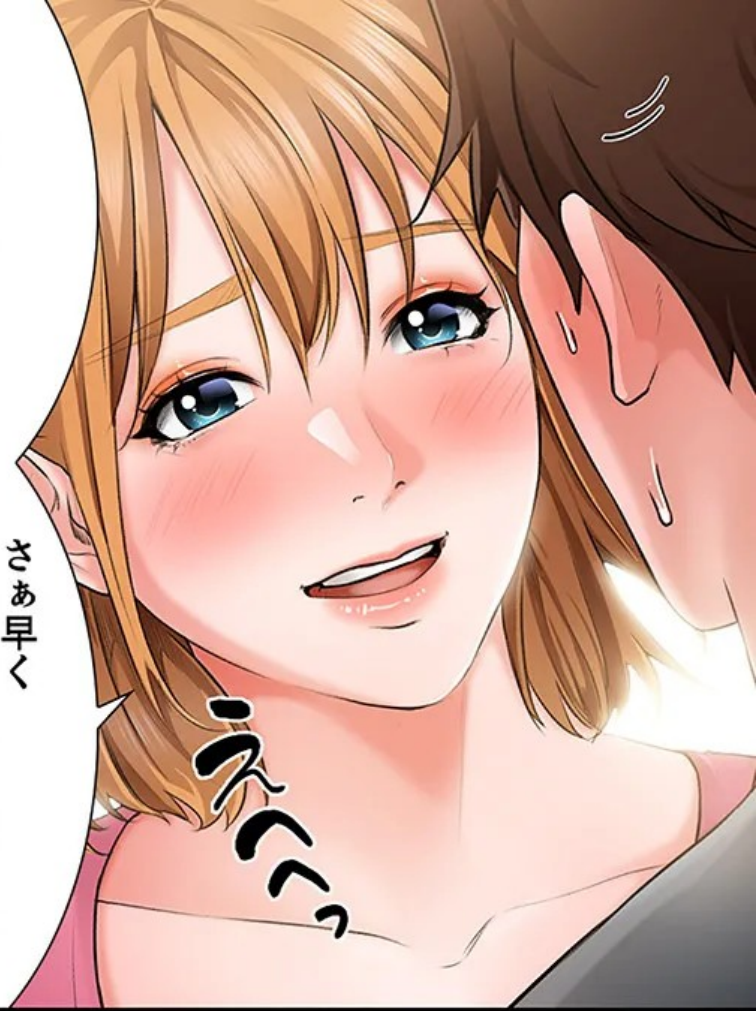


この女
今…!

俺があまりにも
慌てるから
ウブだと思って
弄んでるのか?

ごめんなさい…
奥に入っちゃったわね…

さあ早く
持って行ってください
私が取ってあげても
いいですけど?

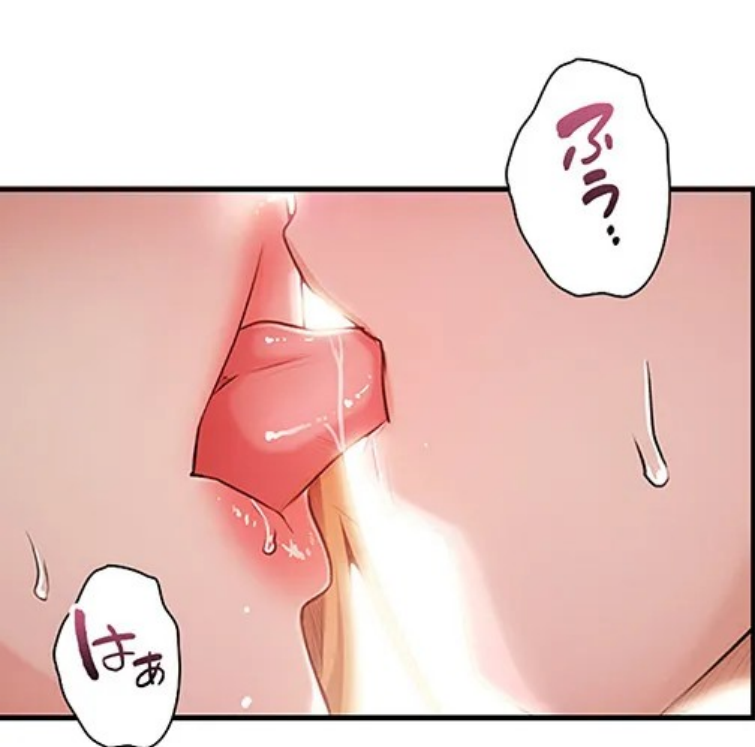


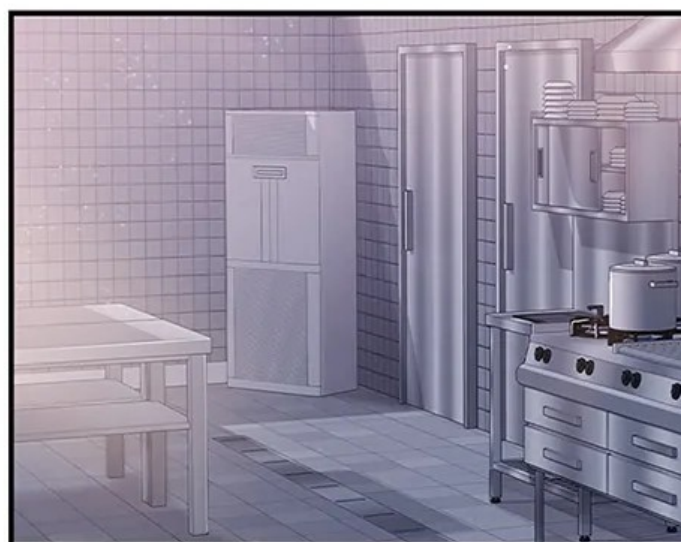
分からせてやる…

ええ…?

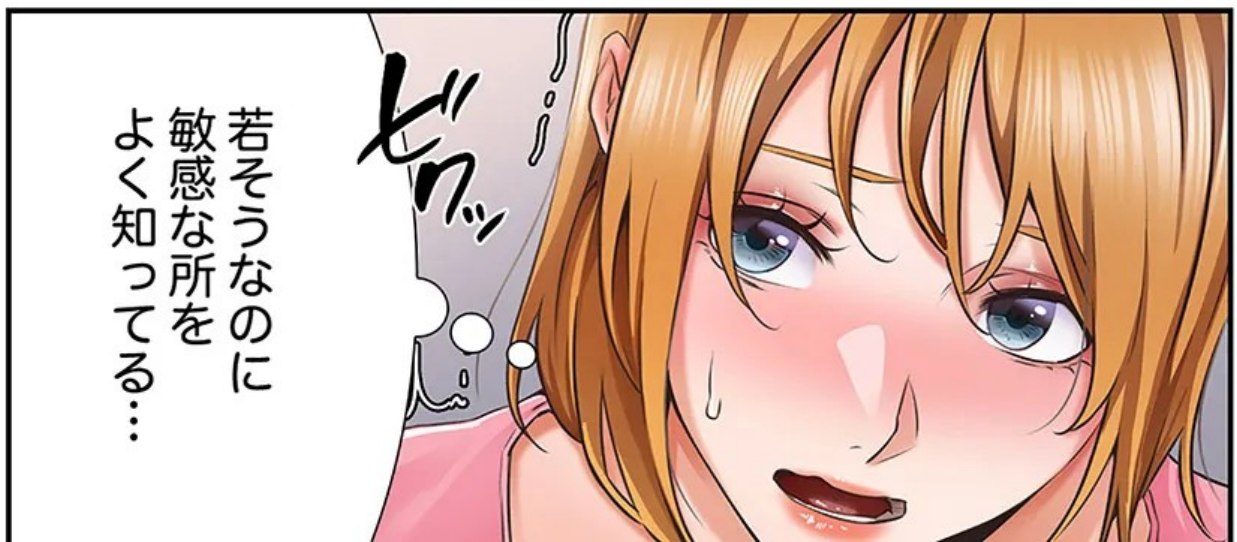


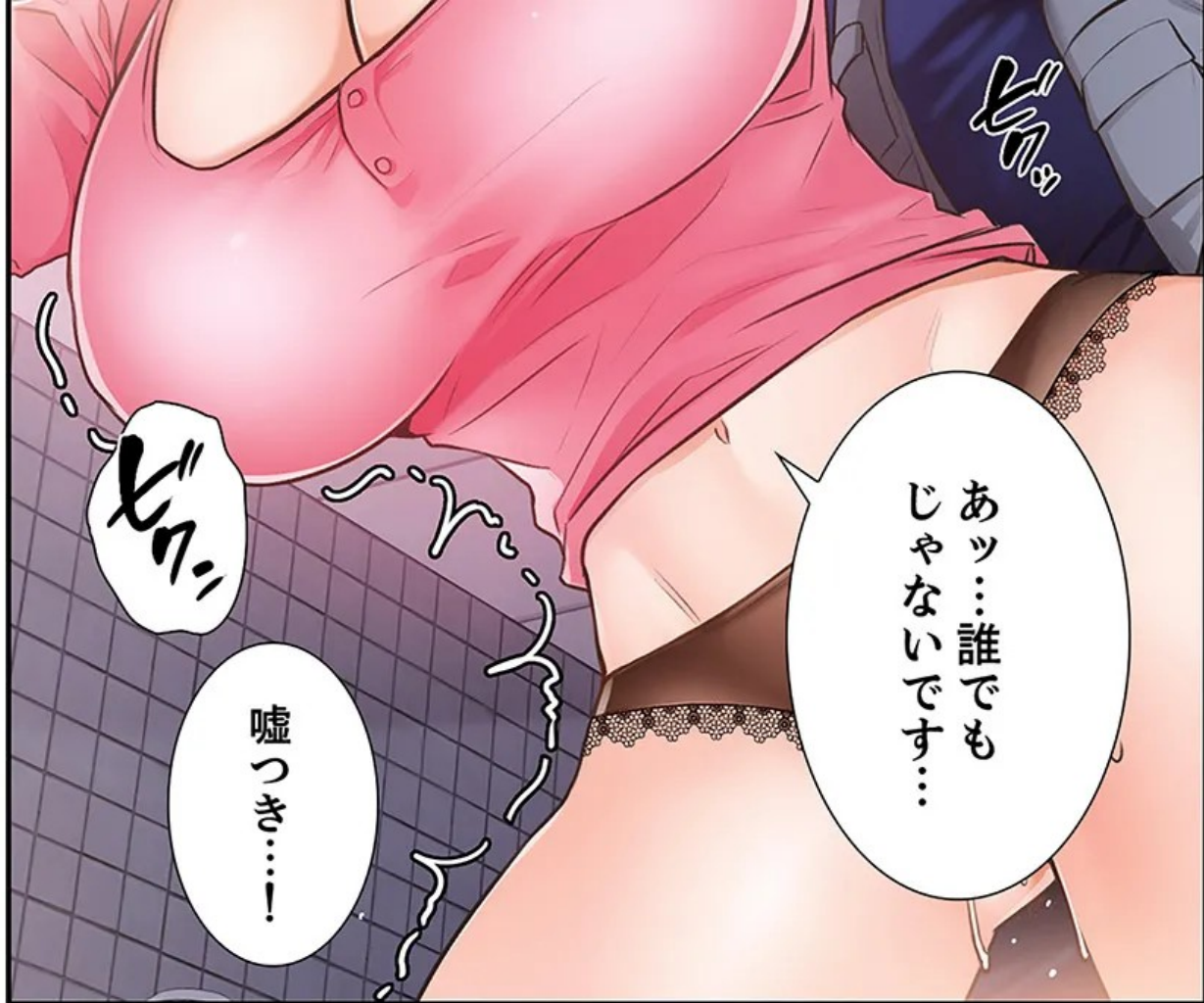














ふう…それなら
もう挿れますよ…!!

大丈夫です
私濡れやすいから…

はうッ…

はい…

ぎゅっ

あ…!?

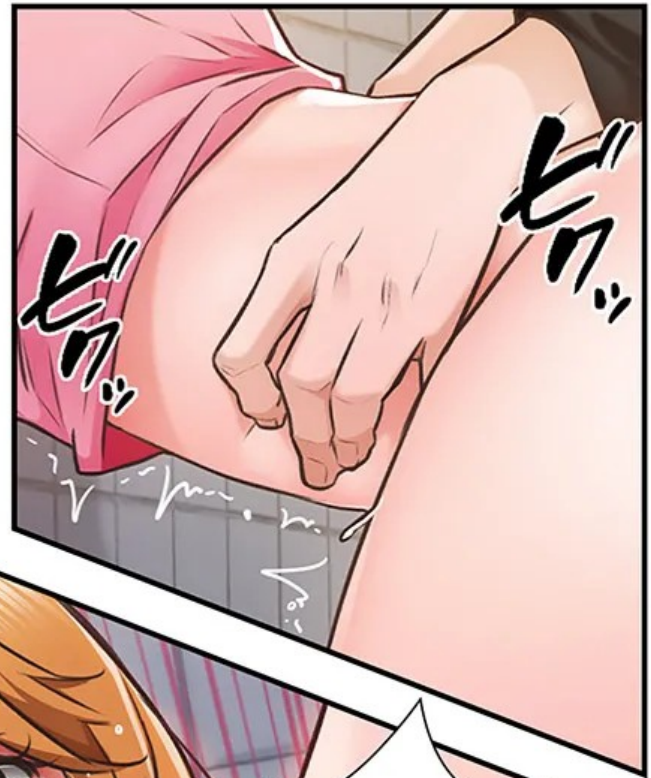
ちよつと待って…

ふ…ふいいッ!?

アッ

はあ

すみません俺の
ちよつと太くて…



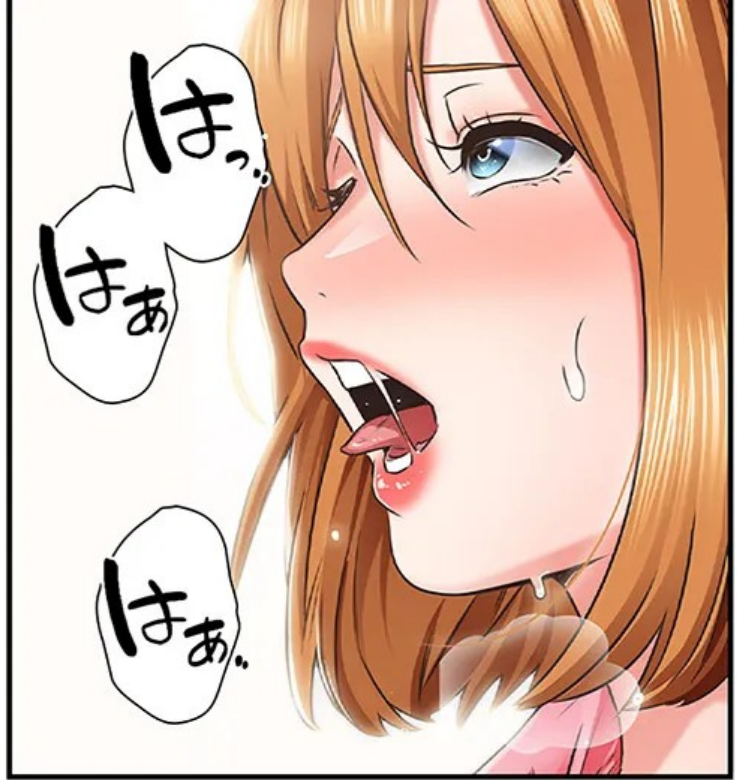




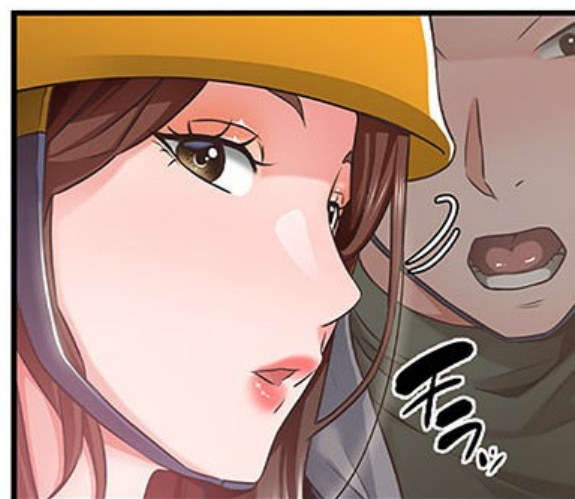
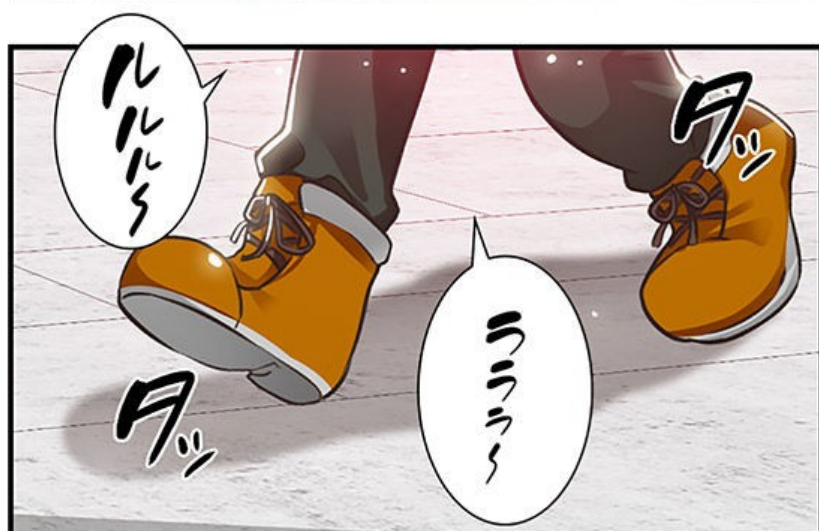
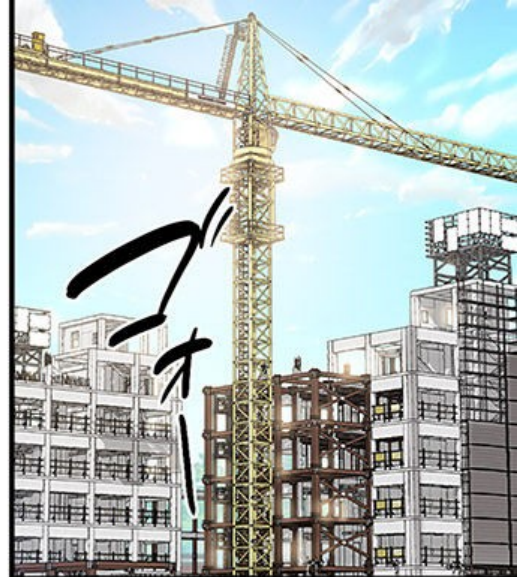


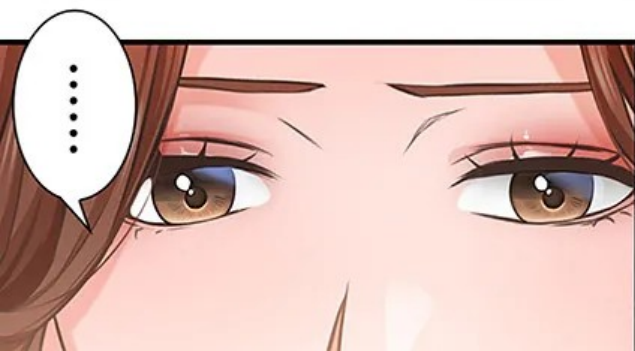
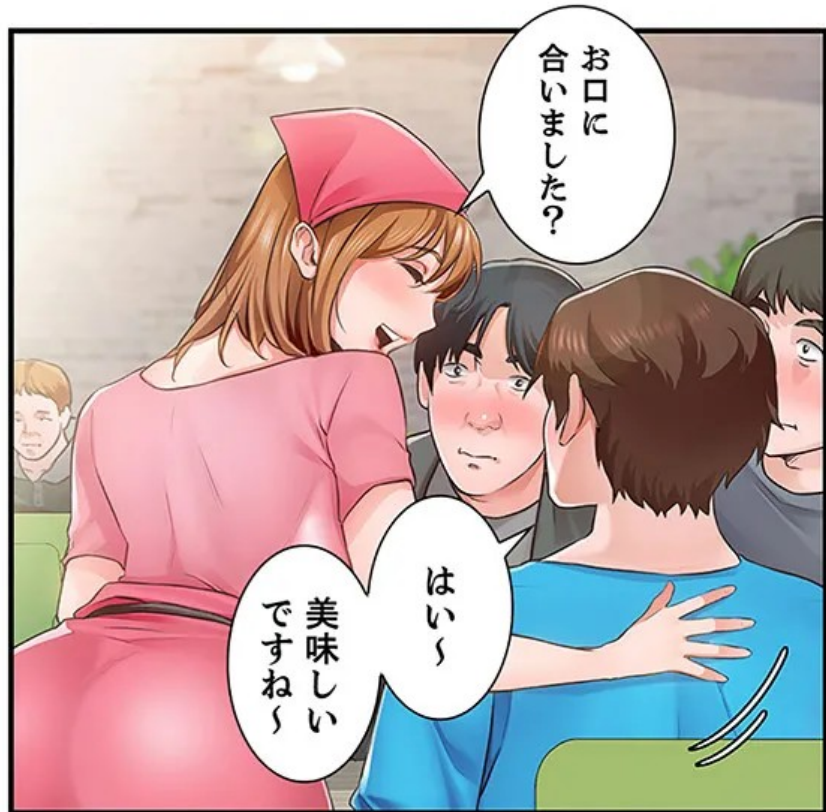
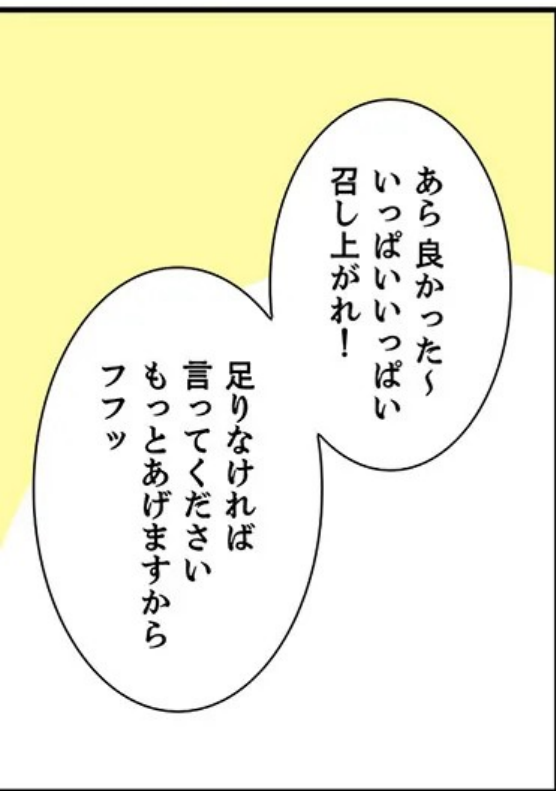
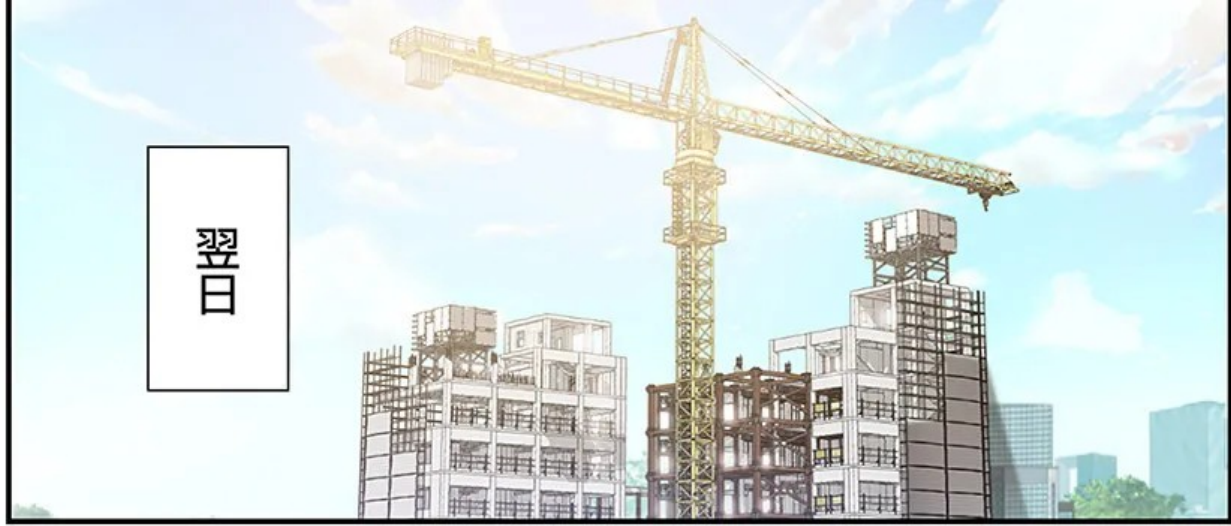






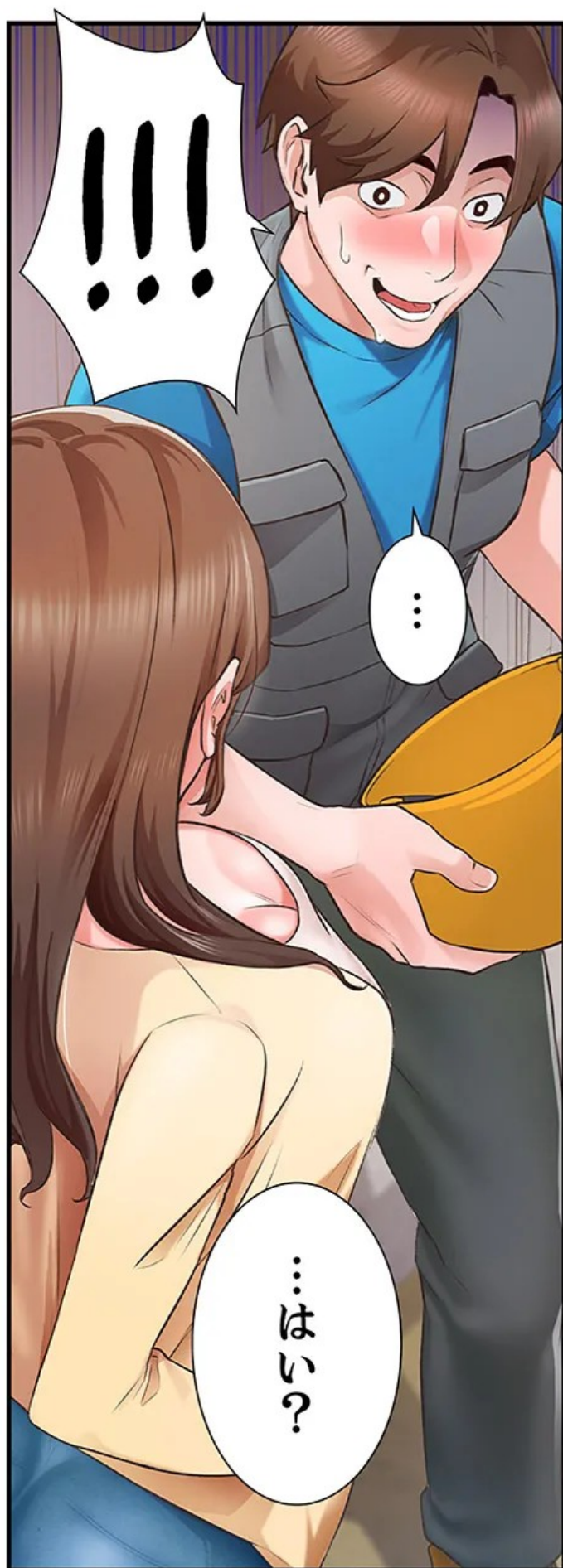






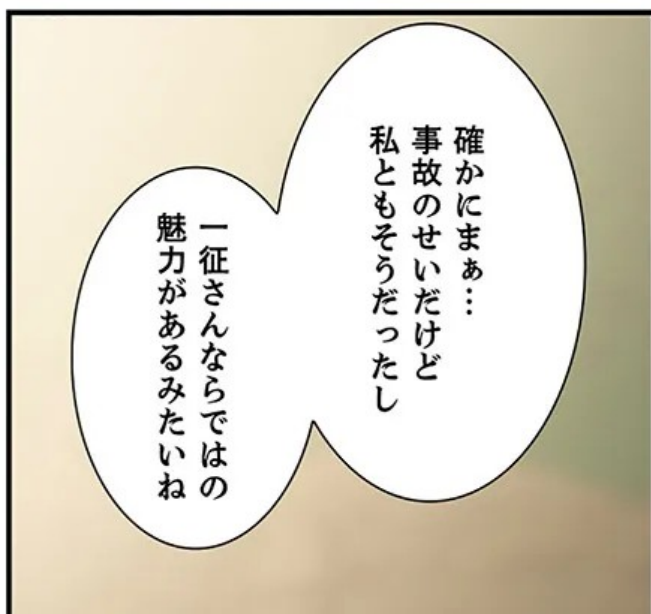
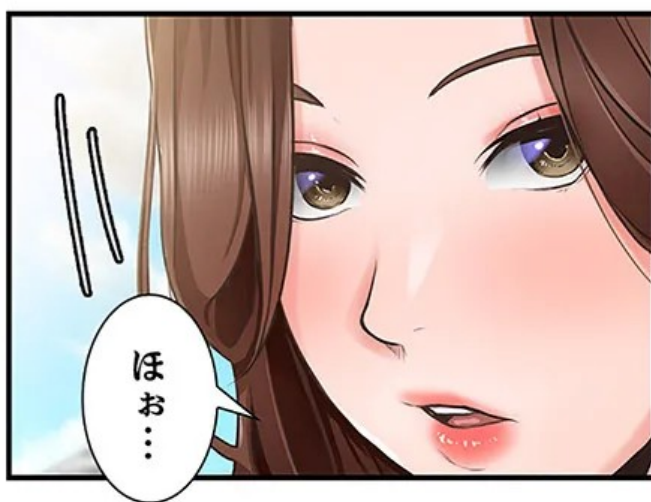


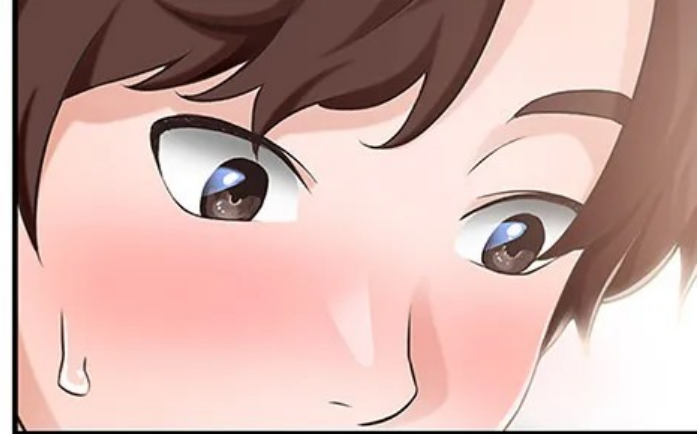


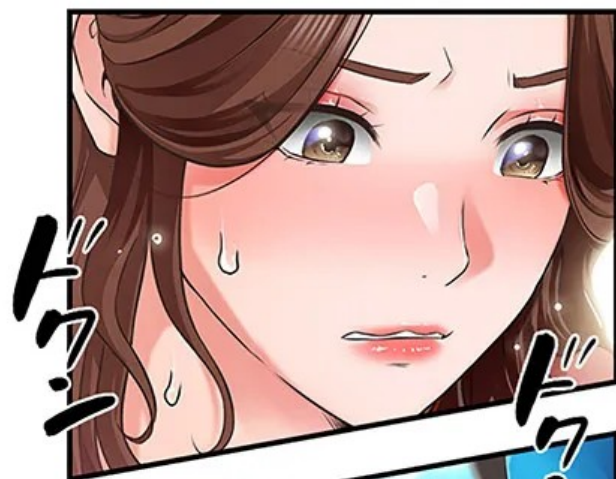
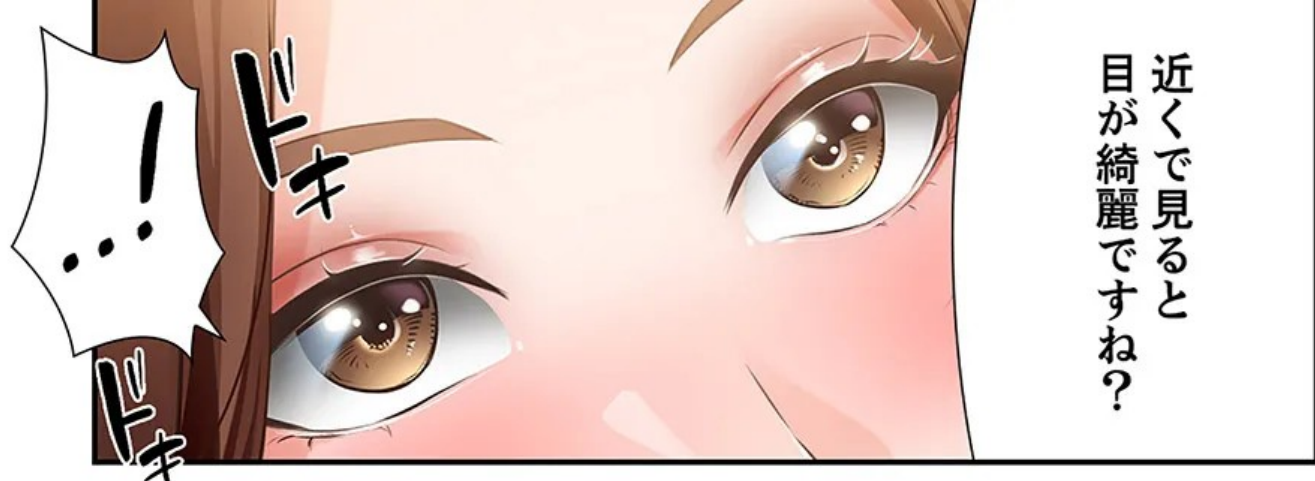




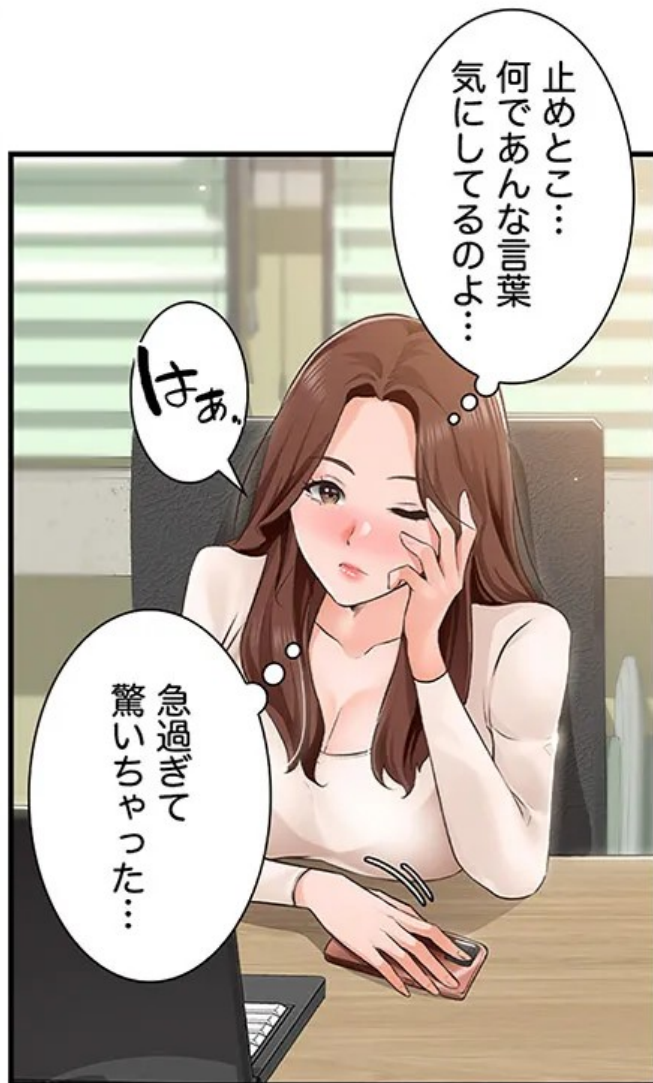
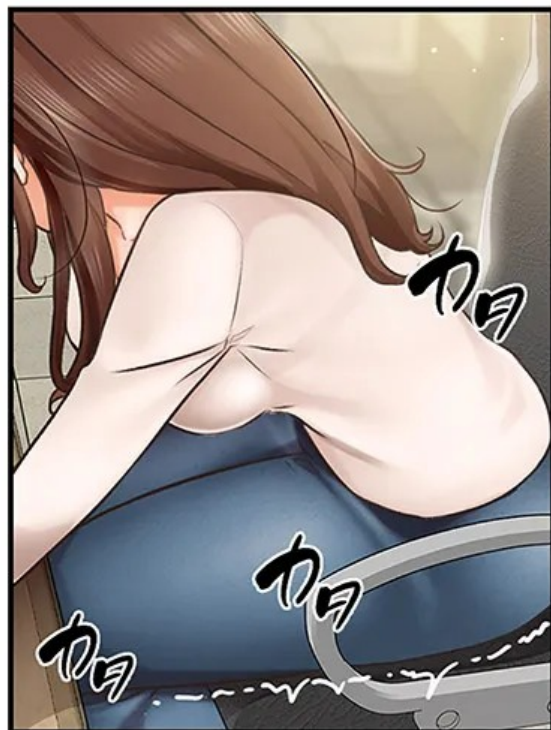








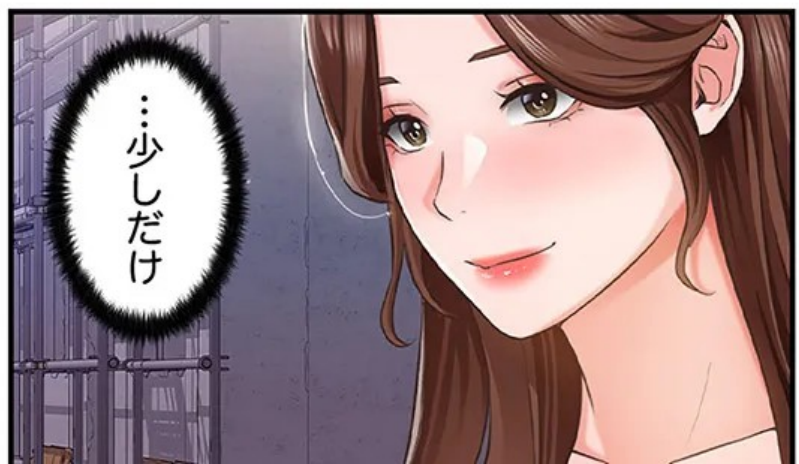
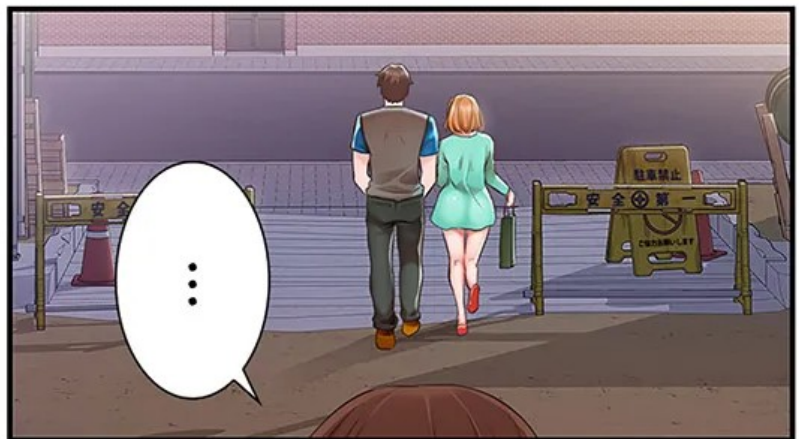




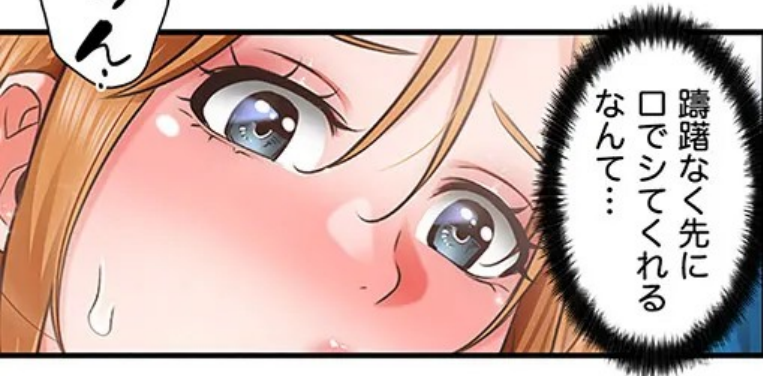
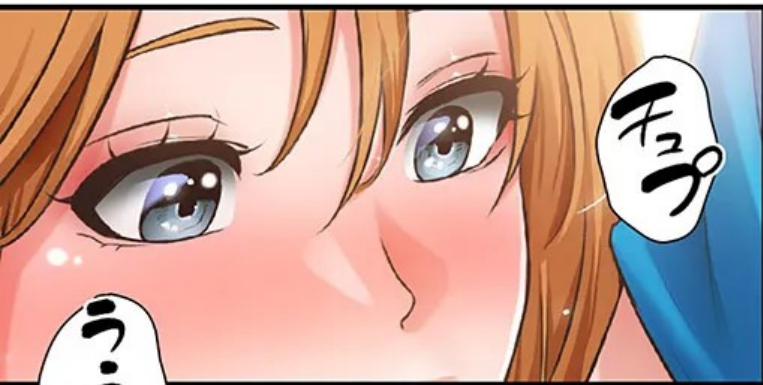














じゅる



ぷはっ



フュッ

フュッ

俺今日
凄く汗をかいてて…

まずはシャワーを
浴びたいん
ですけど…？



ははッ

はあ

間違いない普通の
女ではないな

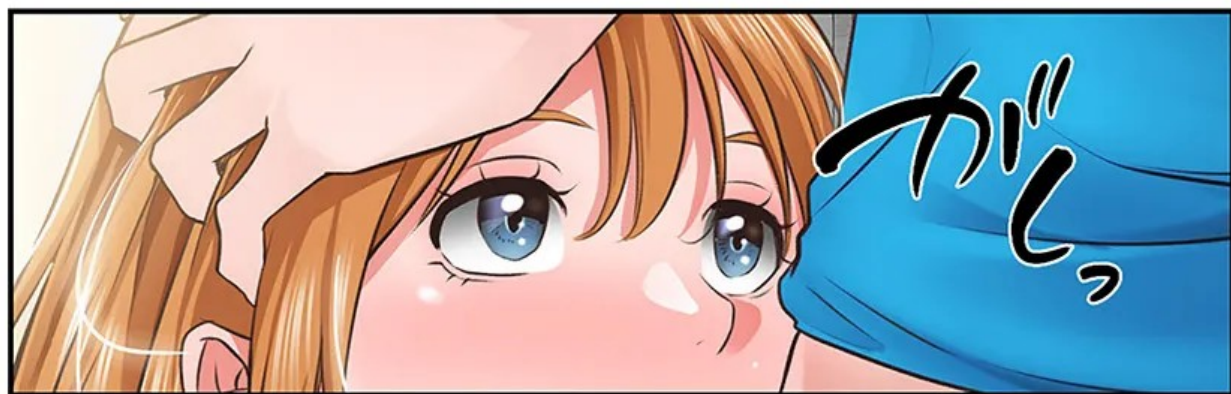
はあ

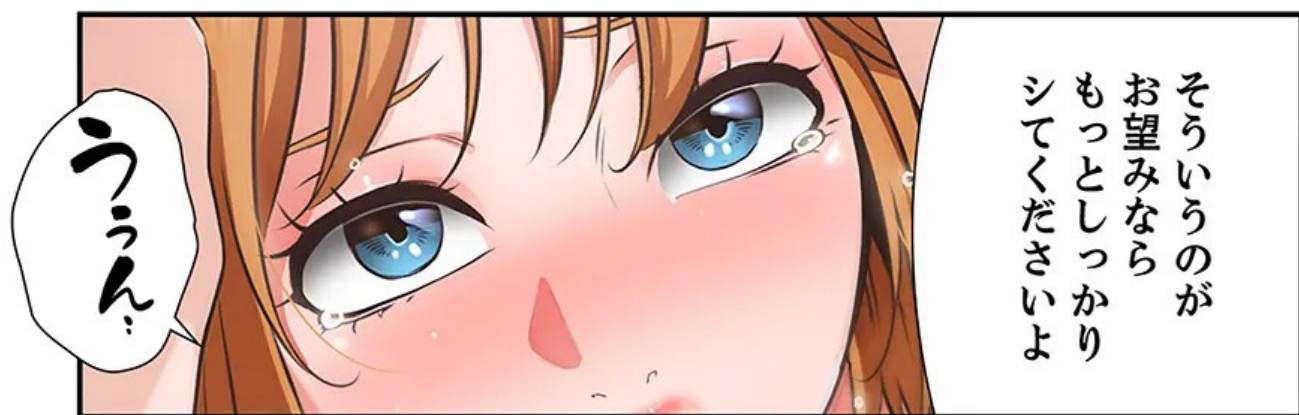


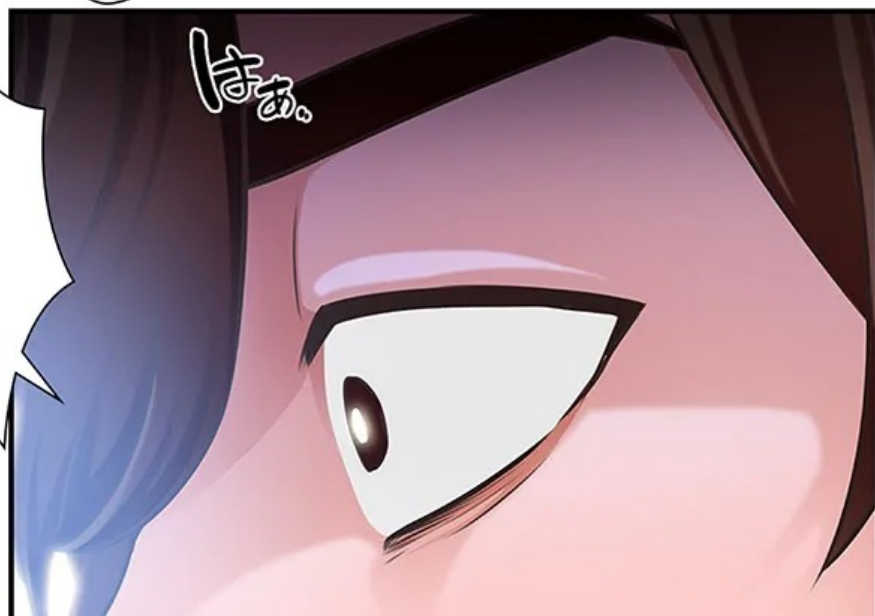
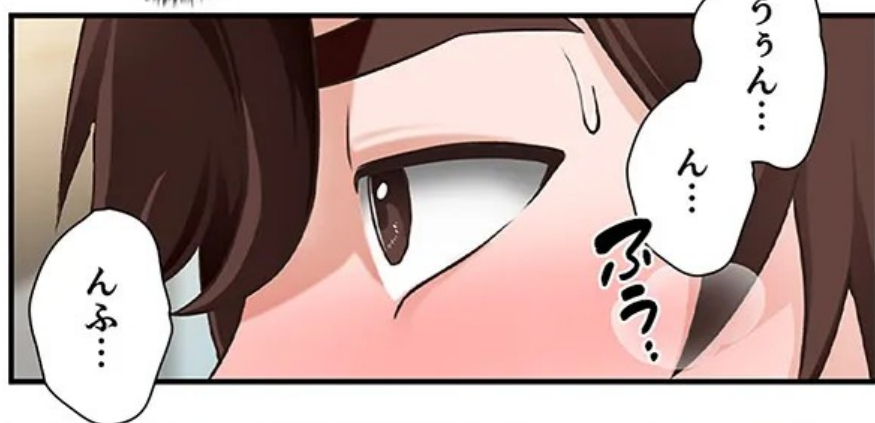
フッ

それだから余計に
いいんですよ？

一征さんの
濃い体臭が
残っていて…

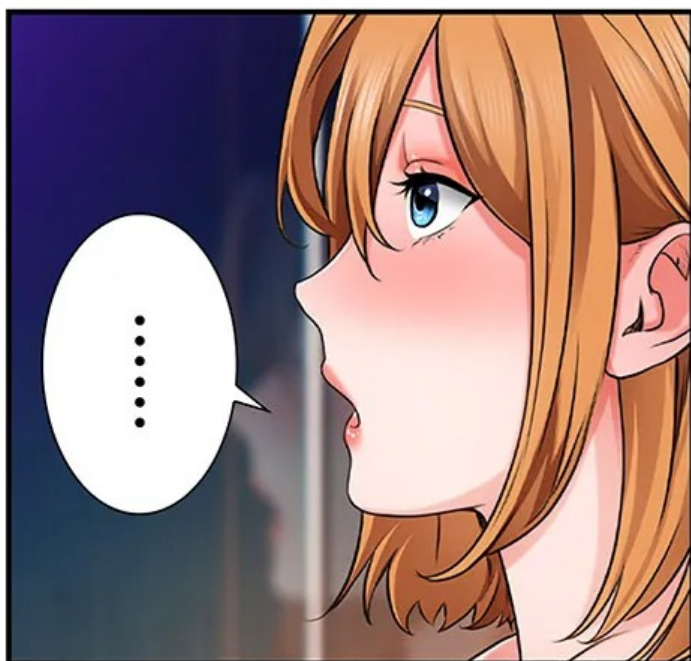




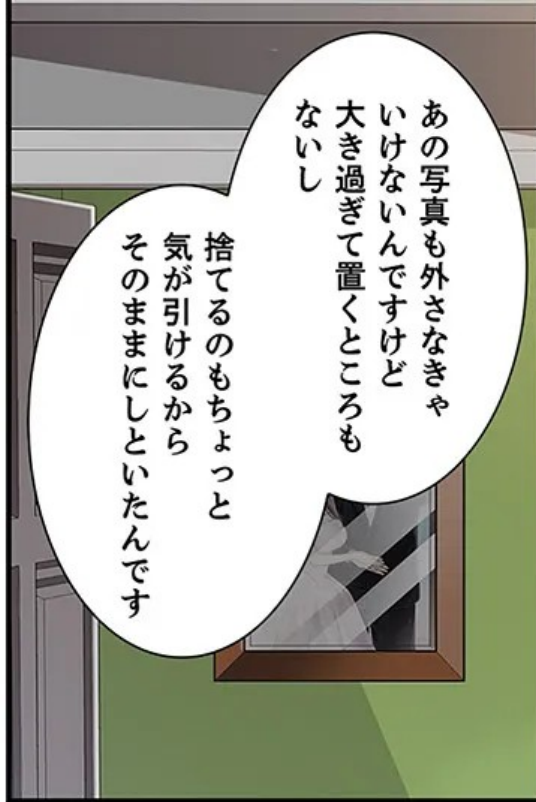










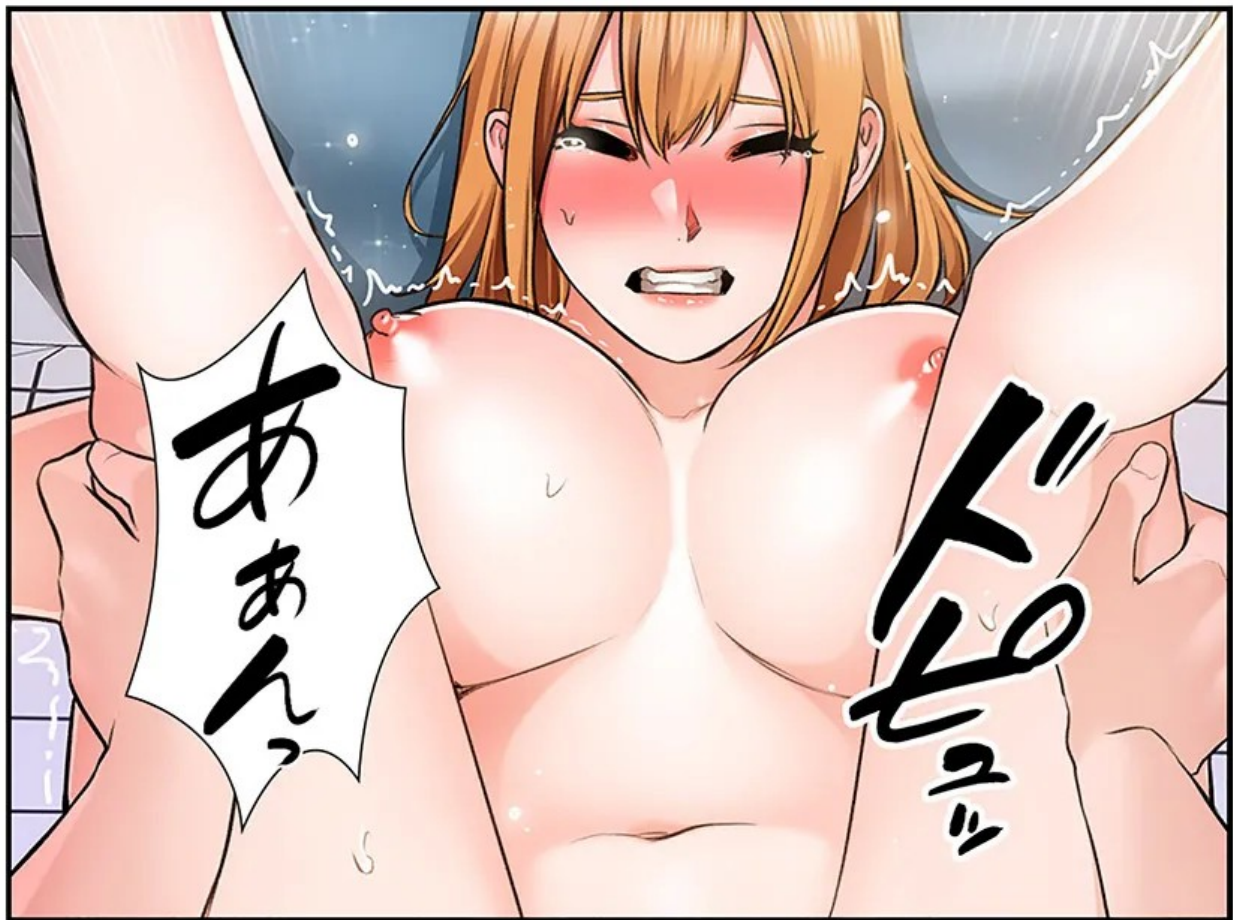










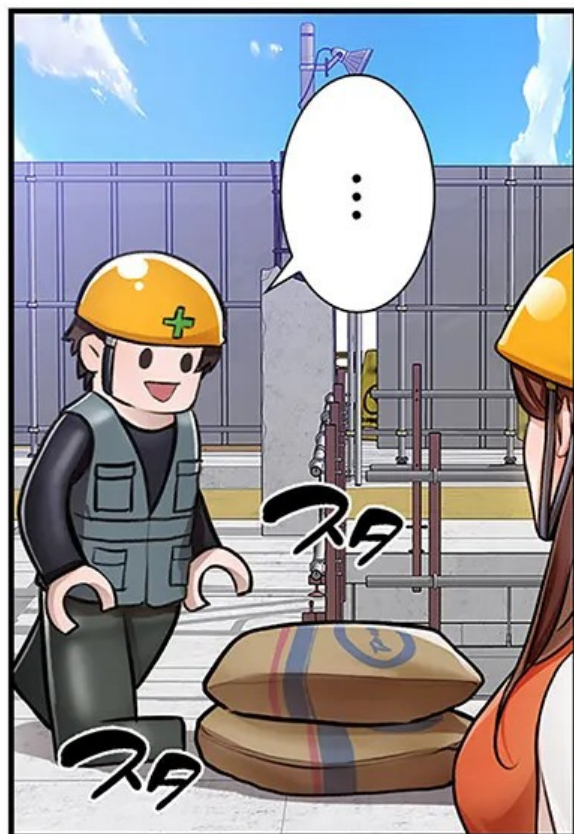
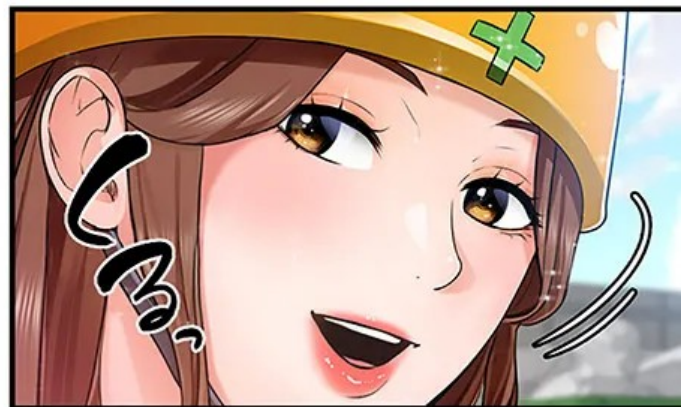












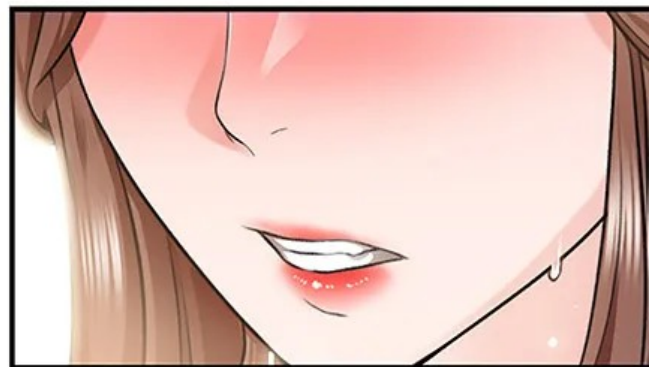


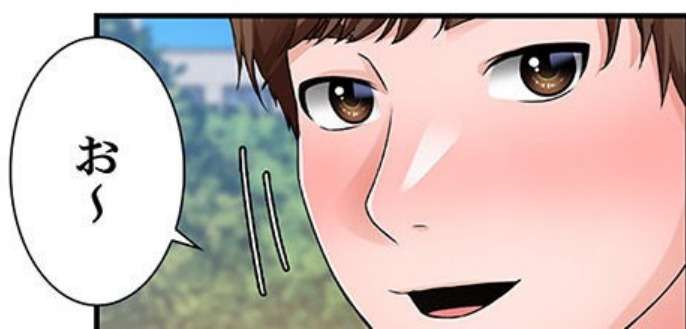
何で俺の事は
助けてくれないんだ…

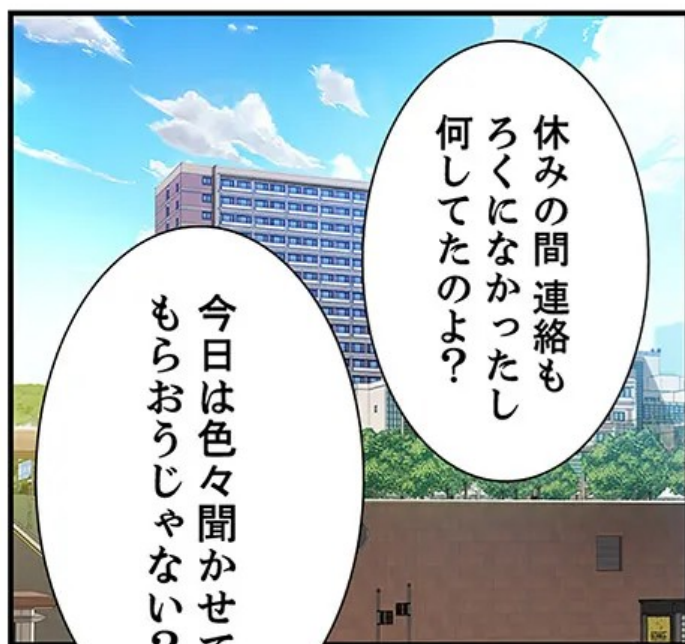
可愛い…

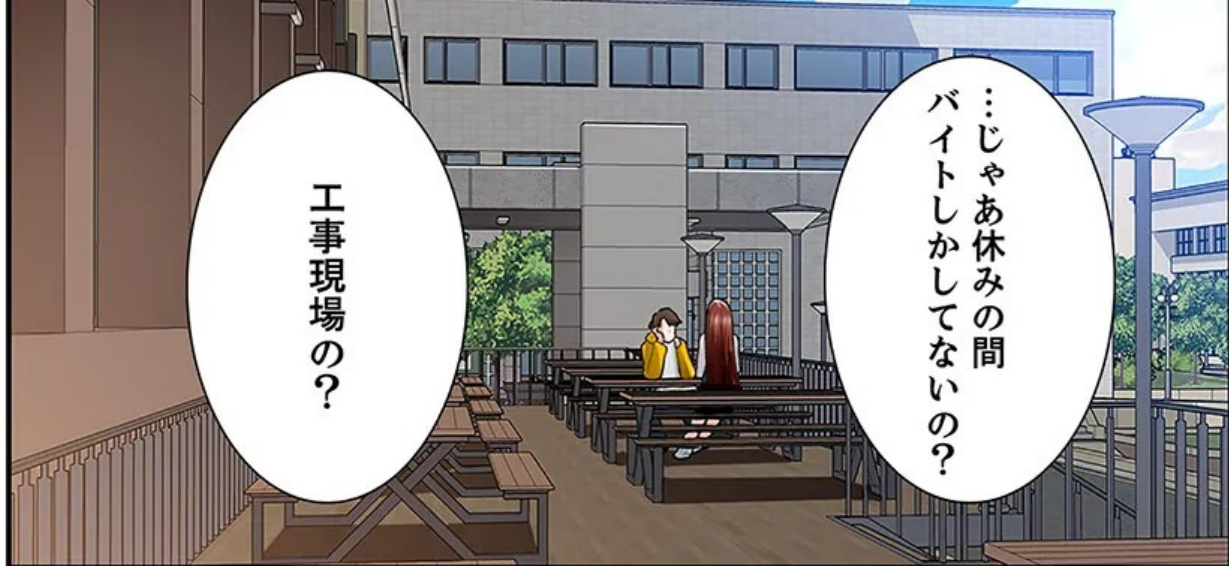
所長！

昨日食事のお誘い
断ったから
怒ったのかな？









工事現場の？

…じゃあ休みの間
バイトしかしてないの？



工事現場なら特に
女の人と会える事も
なかったでしょうね？



土方だよ
土方！

マジで休まず
毎日働いてたな…

はあ..

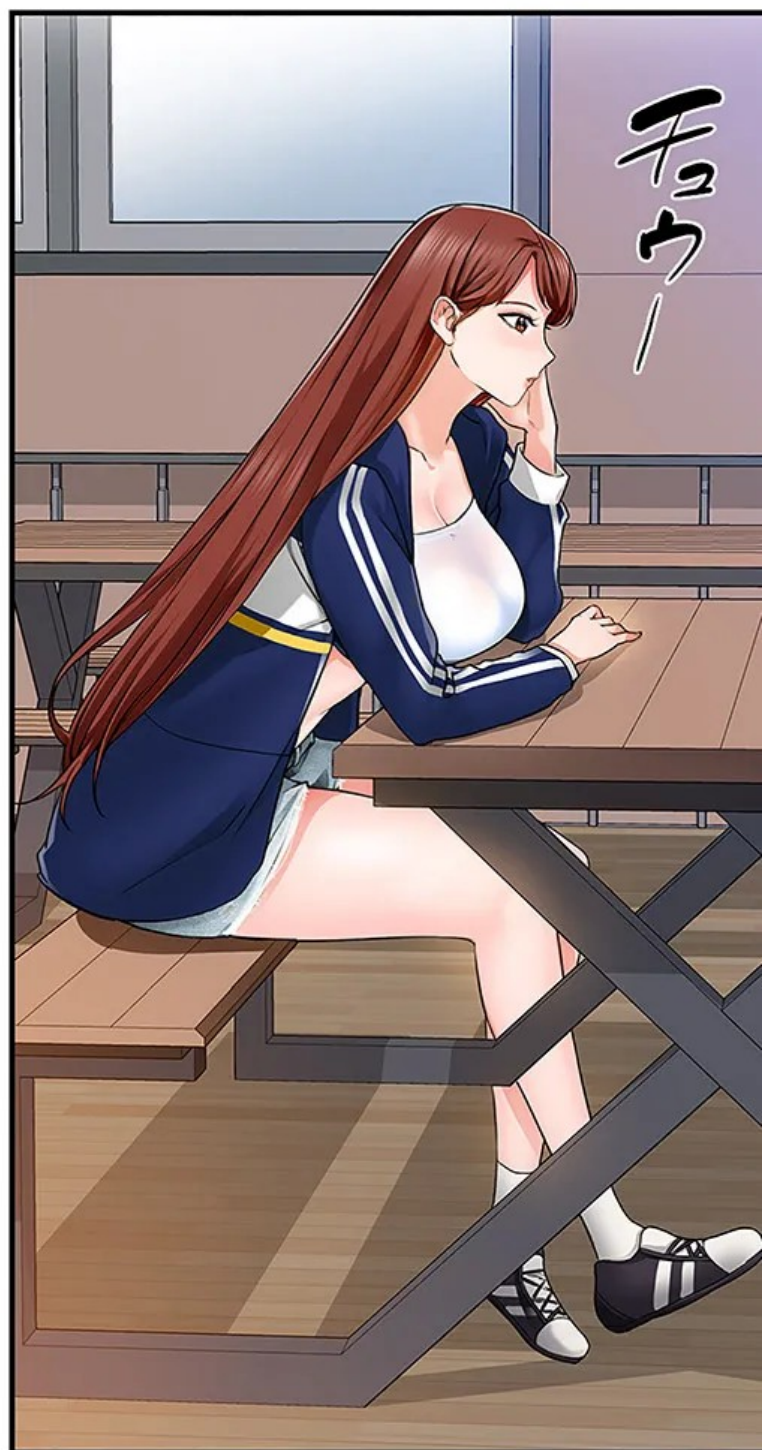
ちよつと
連絡してよう

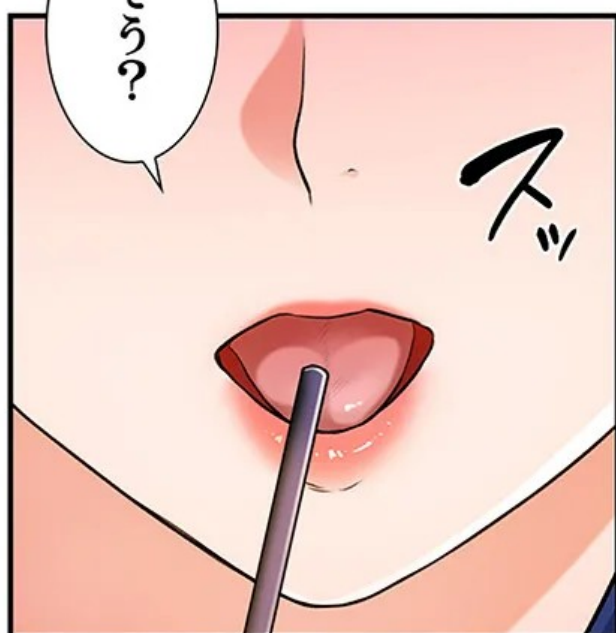
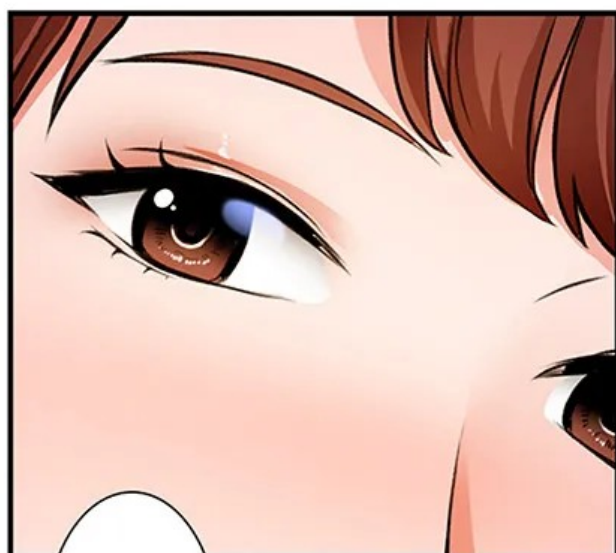
そしたら
お酒一杯ぐらい
奢ってあげたのに



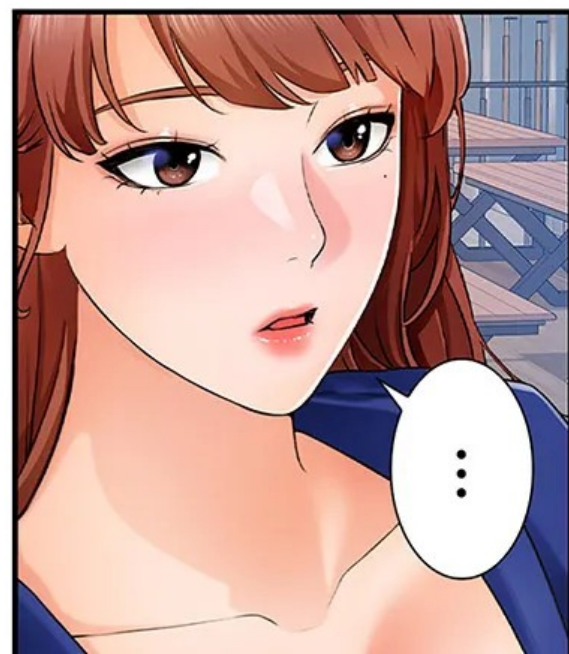
そうとも
言い切れなかったよ…

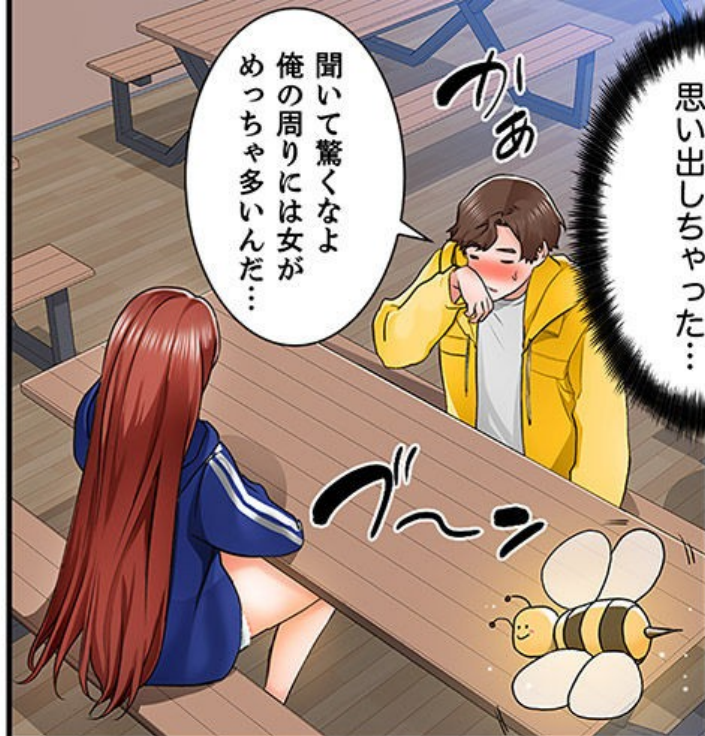
それよりそれ
美味しいのか？
一口くれよ





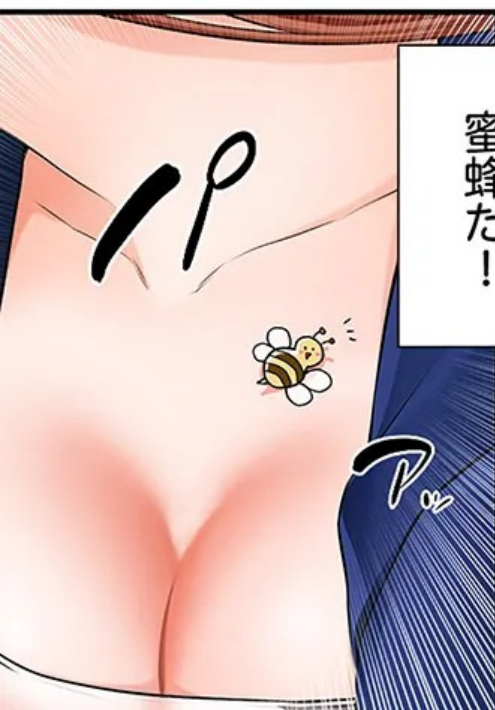






あ…好珠さんの事
思い出しちゃった…



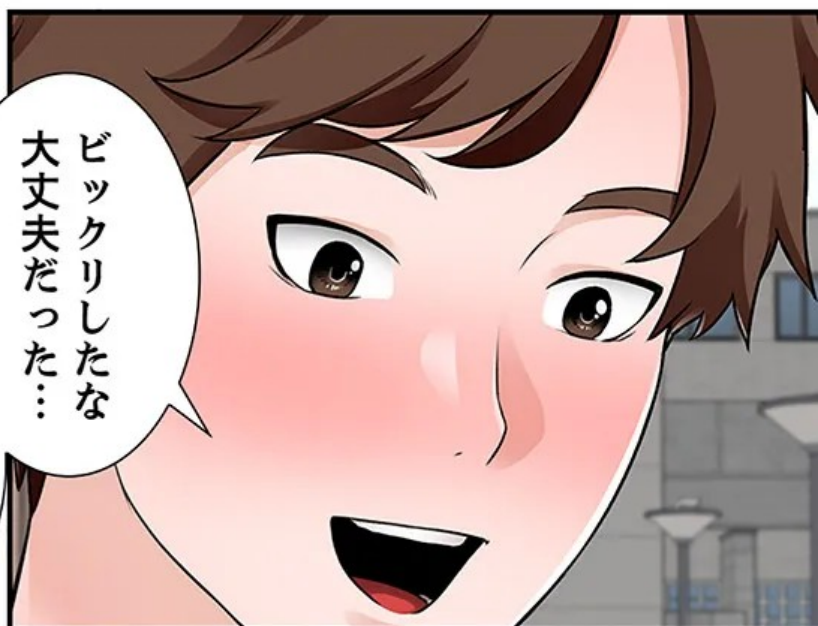
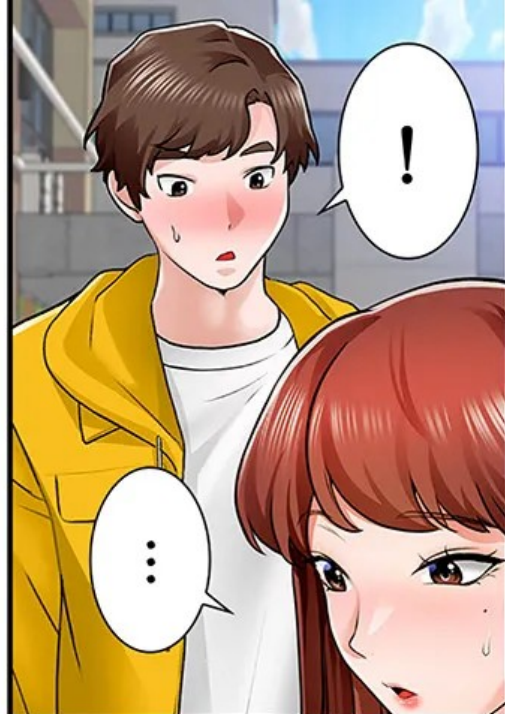


蜜蜂だ！





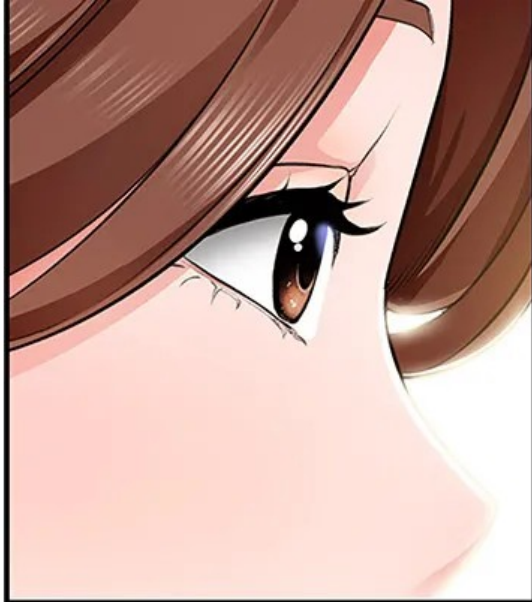












何だか聞き覚えのある
声だな…?



元々この授業の担当だった
田中教授が休暇を
取られましたので

代わりに私が
担当する事となりました

そういう事で今学期
よろしくお願いします

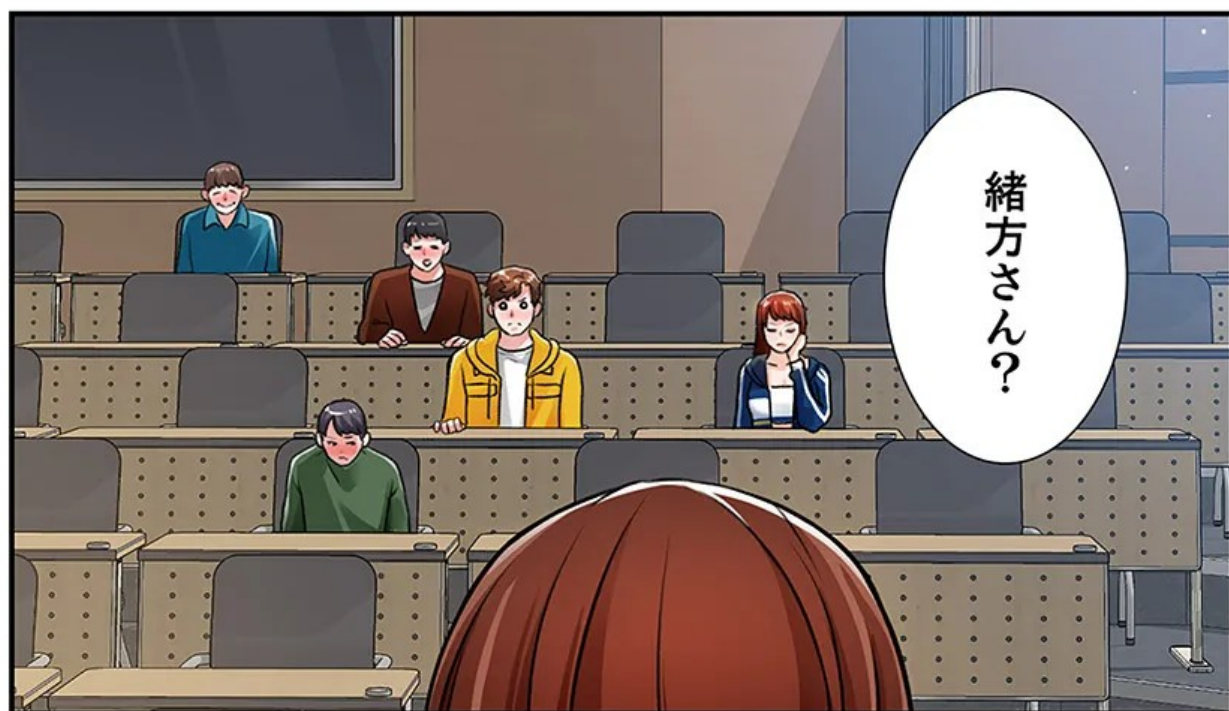
たきぐちあきら
滝口玲と言います
質問等気軽にしてください

しよ…所長!?

ト

















他の教授達も
お前がきてくれなくて
寂しく思ってるぞ

もっと学校に
きたらどうだ？



所長の前で小言は
恥ずかし過ぎます…



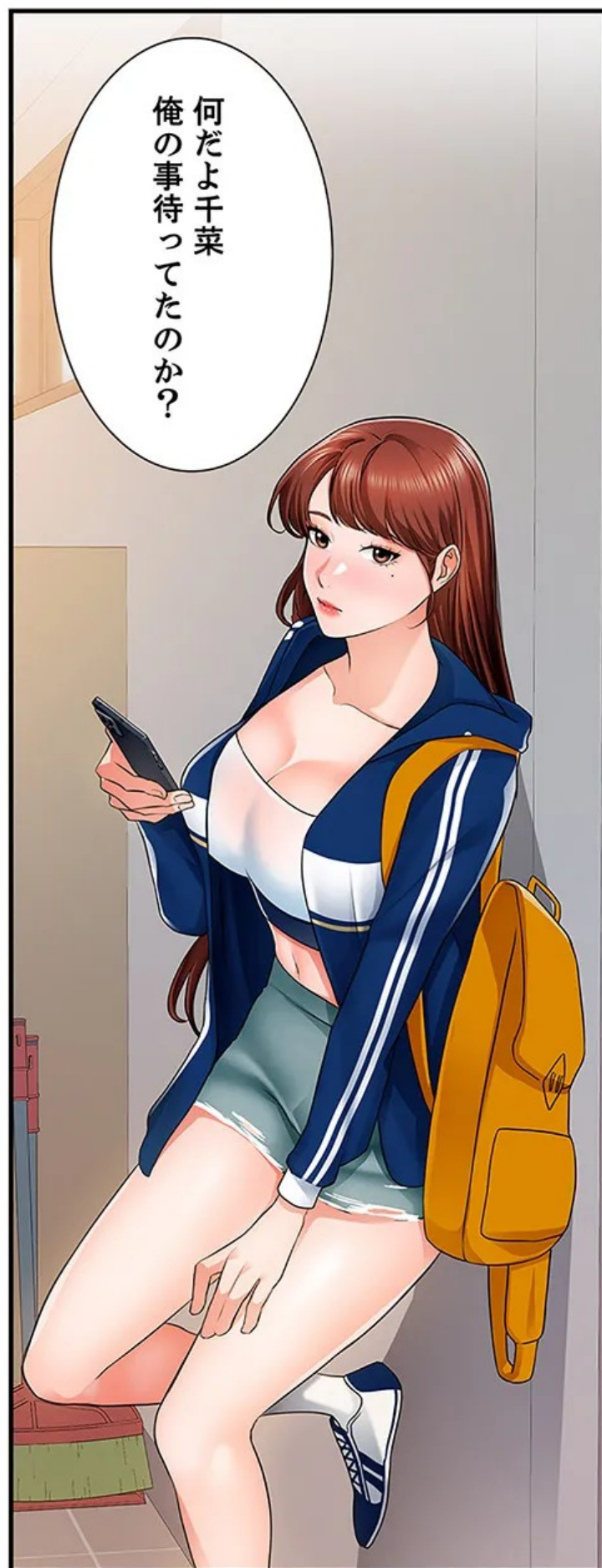


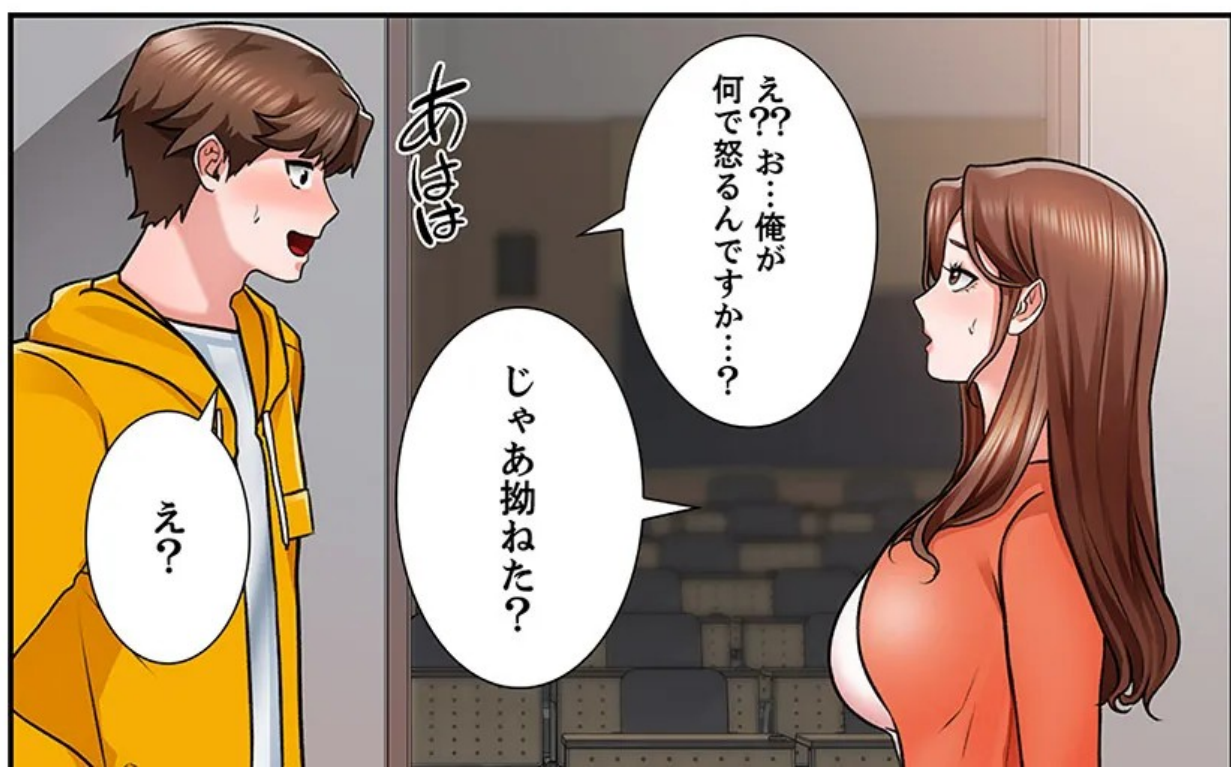
二人を見ると
大人の世界みたいで
もの凄く壁を感じる…

今まで気にしてなかったけど
所長はやっぱり俺とは
住む世界が違う人間なんだな…







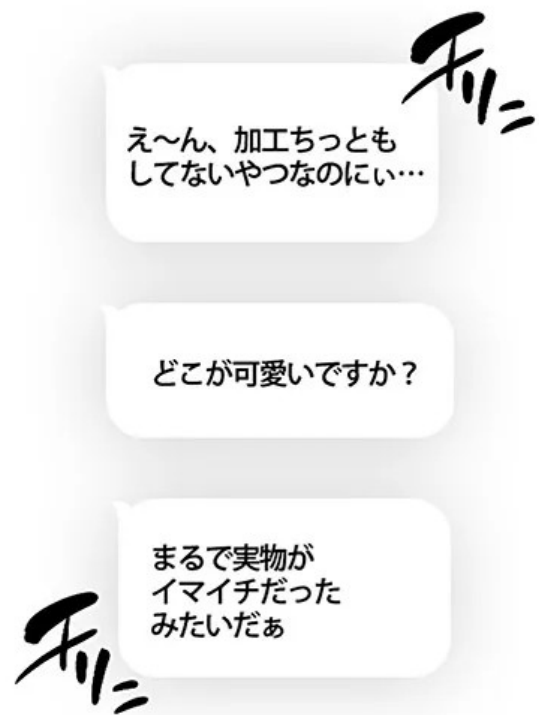














実物の方が…
ずっと良い様な



好珠さん

そう…?
実物見に来ますか?

フリニ

来るなら
住所送ってあげます



好珠さん



今横になって撮ったの…
こっちは写真の方が良いですか
実物の方が良いですか?

恥ずかしい キャツ





好球どろ

うわあん…ドキドキ
ふふふ！



一征さんに会うって
思ったらもう
濡れてきた様な…



今すぐシャワー
浴びなきゃ…！

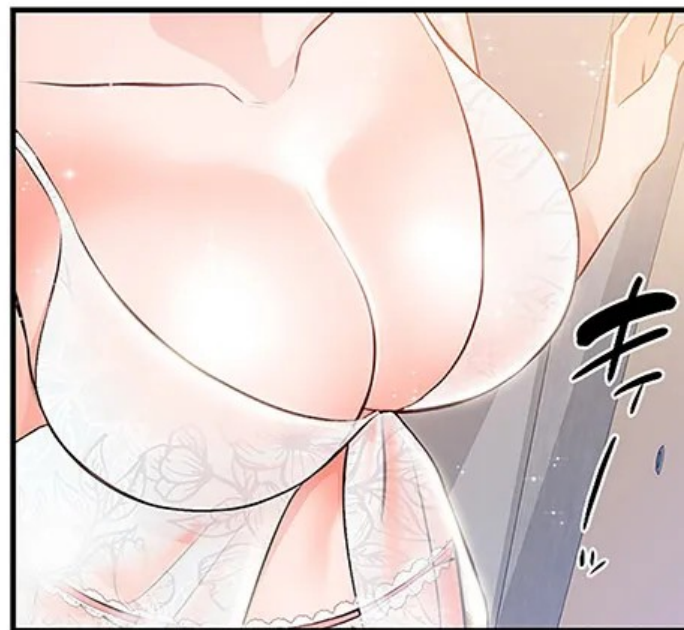
何着よう？



今すぐ行く！



本当にこの人
変態だな…
写真まで送って…







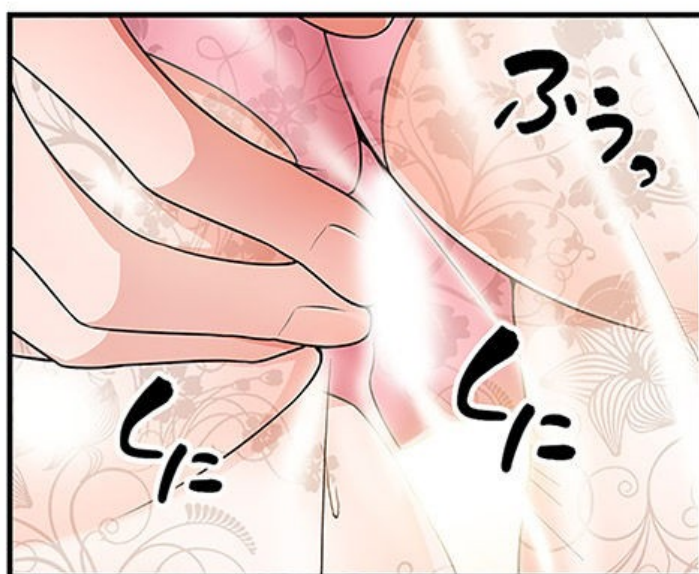
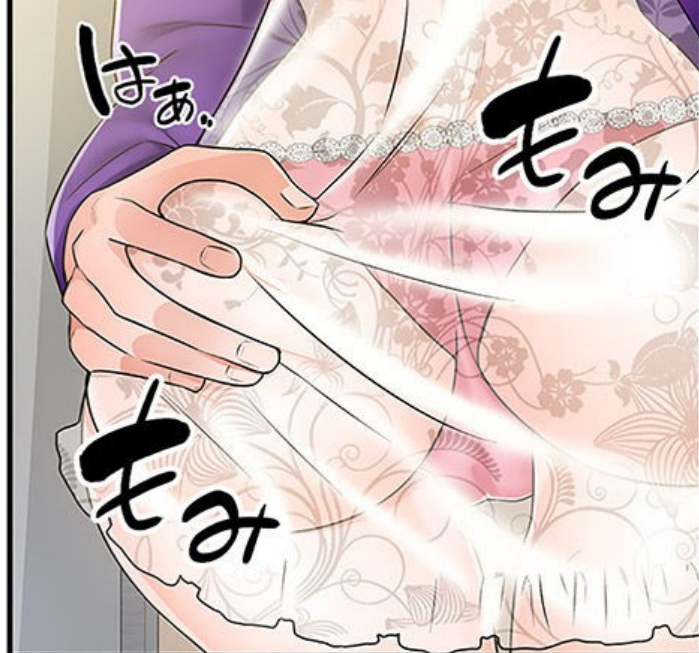
あッ…

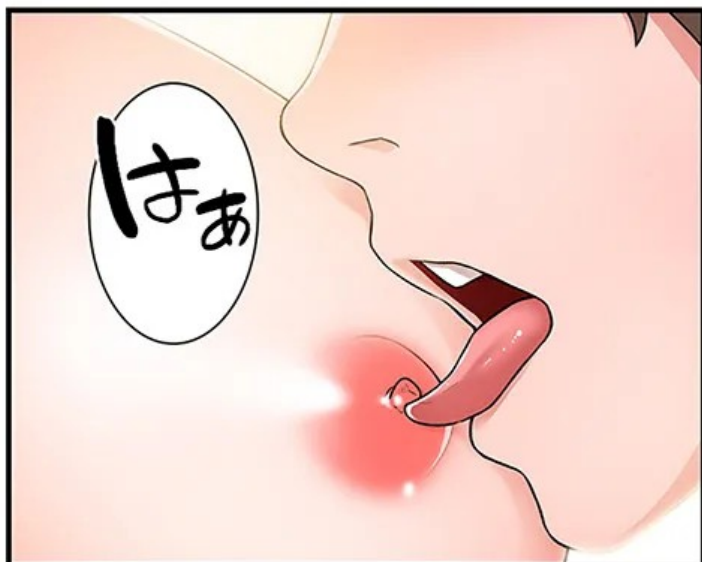
まに

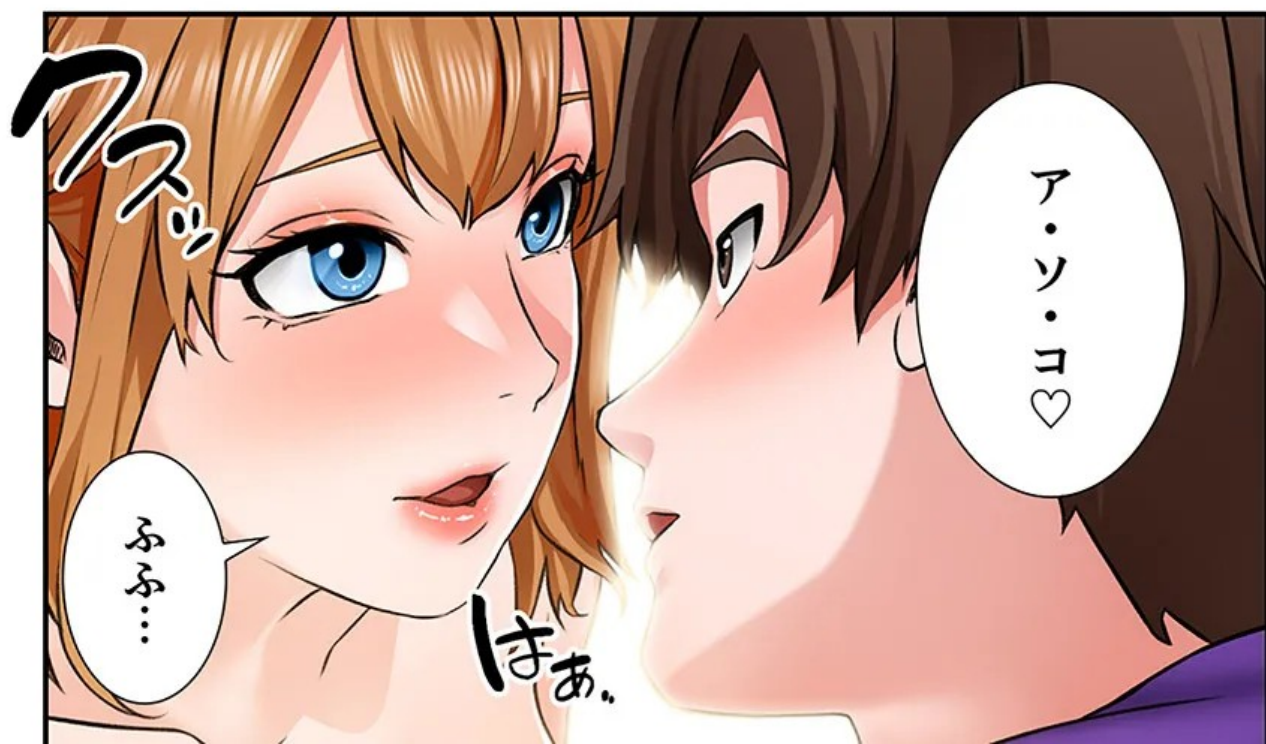


小さいマンションだから
すぐ噂が回るんですよ

特に男が出入りしたら
誤解される事もあるから
気をつけてるんですけど

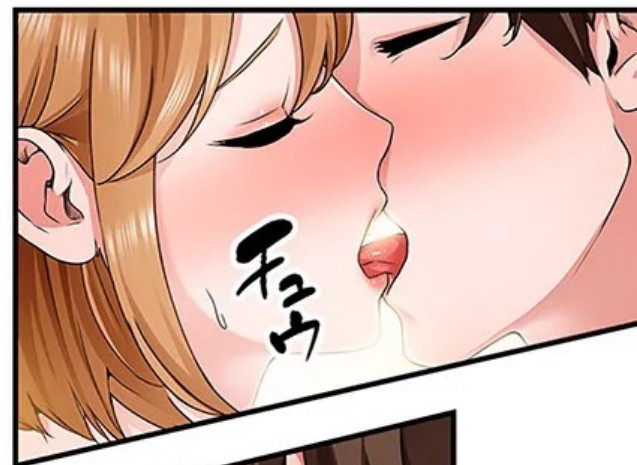




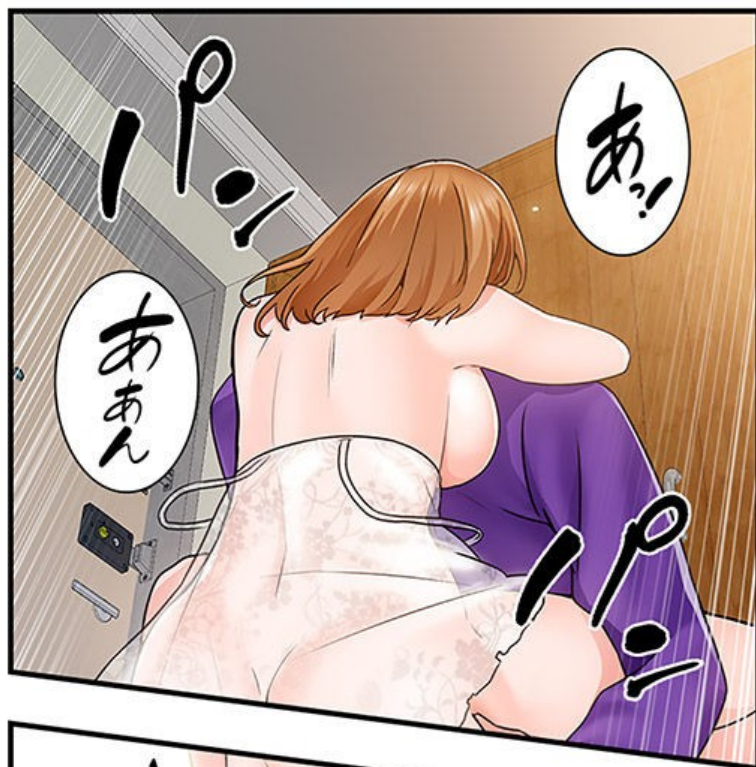




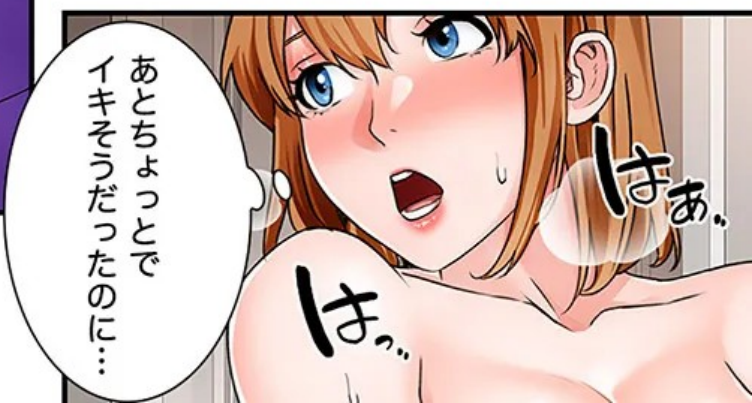
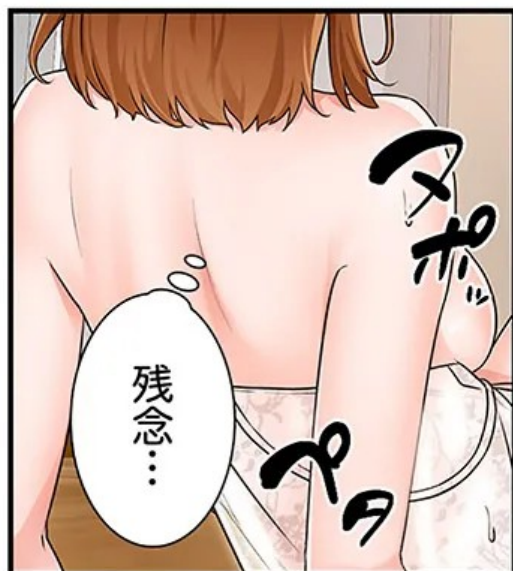
















あの人もうるさく
してるんですよ
それなら気付かせて
やるべきでしょ



か…一征さん…!?
ここでは駄目です…!
あの人の文句
聞こえませんでしたか?

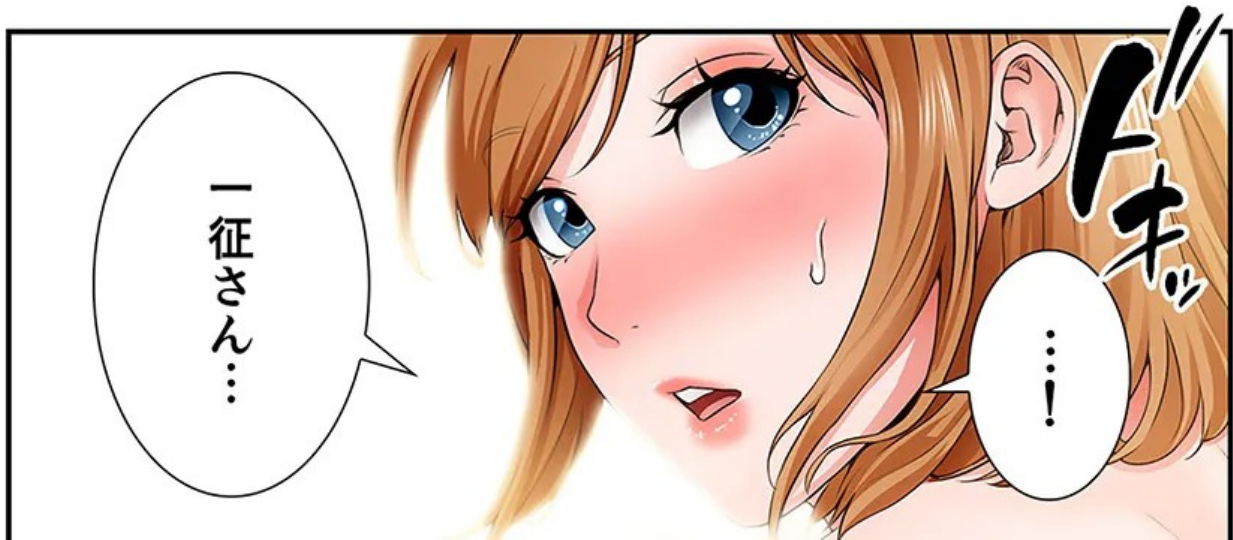


駄目ですよ…
今は良くても
後々どうするん
ですか…!?

俺を信じてください
責任取りますから

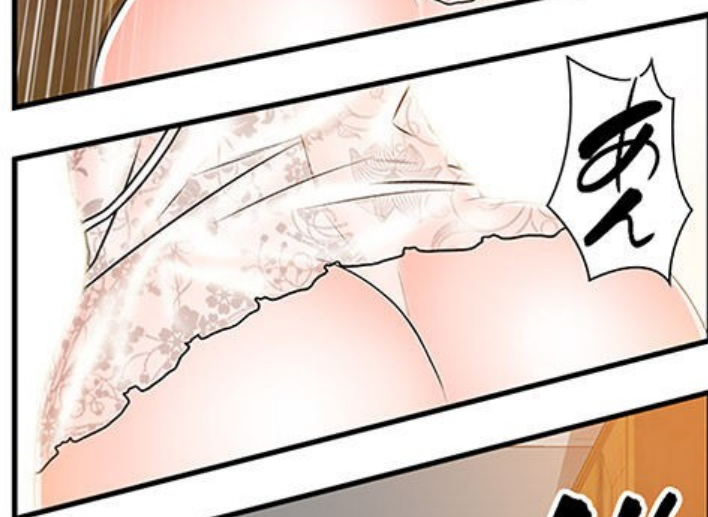


隣人の騒音がどれほど
他人に被害を与えるのか…!
善良な市民が
屈するわけには
いかないじゃないですか



一征さん…

…!





凸感ロマンス 【合本版】 1

著者 anko・ANTAI&haron

発行 Rush!

表紙デザイン CoCo.Design

この物語はフィクションです。登場する人物・団体・名称等は架空であり、実在のものとは関係ありません。
本作品の全部あるいは一部を無料で複製・転載・配信・送信したり、ホームページ上に転載することを禁止します。
本作品の内容を無断で改変、改ざん等を行うことも禁止します。
また、有償・無償にかかわらず本作品を第三者に譲渡することはできません。

©anko・ANTAI/haron 2024